

第 3 章 在外福島県人会の情報

Chapter 3 Information of Overseas Fukushima Kenjinkais

- 3-1 在外福島県人会一覧
- 3-2 在外福島県人会の情報

- 3-1 List of Overseas Fukushima Kenjinkais
- 3-2 Information of Overseas Fukushima Kenjinkais



	地域	国・地域名	県 人 会 名	代表者氏名	設立年月日	会員数		ページ
						人数	世帯数	
1	北米	アメリカ	南加福島県人会	クマダ 熊田 るみ	明治 41 年 (1908 年) 8 月 (戦前) 昭和 23 年 (1948 年) 5 月 16 日 (戦後)	100	－	p85
2			シアトル福島県人会	Alan Yamada	大正 7 年 (1918 年)	60	－	p87
3			マウイ福島県人会	Brian T. Moto	大正 9 年 (1920 年) (戦前) 昭和 25 年 (1950 年) 3 月 23 日 (戦後)	83	－	p89
4			ホノルル福島県人会	Sadie Watanabe	大正 12 年 (1923 年)	－	166	p91
5			ハワイ島福島県人会同志会	Winston Towata	昭和 29 年 (1954 年) 1 月 30 日	83	－	p93
6			北加福島日系人会	Wapensky エイコ	昭和 35 年 (1960 年) 4 月	70	－	p95
7			北米イリノイ州シカゴ福島県人会	スダ トシオ 須田 俊雄	昭和 45 年 (1970 年) 3 月 15 日	－	－	p155
8			ニューヨーク福島県人会	タケダ サヨコ 竹田 小夜子	平成 15 年 (2003 年) 6 月 7 日	60	－	p97
9			米国ワシントン DC 福島県人会	ボーケ シンゴ 重子	平成 28 年 (2016 年) 12 月 28 日	14	－	p99
10		カナダ	カナダ福島県人会	サトウ セイイチ 佐藤 清一	昭和 57 年 (1982 年) 2 月	70	－	p101
11	中南米	ペルー	ペルー福島県人会	Victor Sato	大正 4 年 (1915 年) 11 月 10 日 (戦前) 昭和 33 年 (1958 年) 1 月 6 日 (戦後)	1,000	250	p103
12		ブラジル	ブラジル福島県人会	イマイ ユミ 今井 由美 マリナ	大正 6 年 (1917 年) 10 月 25 日	200	－	p105
13			北伯福島県人会	ワタナベ イイチ 渡部 伊市	昭和 32 年 (1957 年)	226	－	p107
14		アルゼンチン	在亜福島県人会	ナナミ 七海 アルベルト	昭和 14 年 (1939 年) 1 月 22 日	550	－	p109
15		パラグアイ	在芭福島県人会	ワタナベ トモジ 渡辺 友二	昭和 47 年 (1972 年) 11 月 15 日	33	－	p154
16		ドミニカ共和国	ドミニカ福島県人会	タマテ コ 玉手 ルリ子	平成元年 (1989 年) 7 月	60	－	p111
17		ボリビア	ボリビア福島県人会	ハセガワ ユキオ 長谷川 幸雄	平成 11 年 (1999 年) 2 月 7 日	16	－	p113
18		メキシコ	メキシコ福島県人会	サトウ エイジ 佐藤 栄二	平成 26 年 (2014 年) 5 月 31 日	41	－	p115
19		キューバ	キューバ青年の島 日系人と福島の友好会	Ulises Rodriguez Hanzawa	平成 30 年 (2018 年) 2 月 18 日	52	－	p117
20	欧州	イギリス	ロンドンしゃくなげ会	ミツヤマ ヨシオ 満山 喜郎	平成 5 年 (1993 年) 2 月	50	－	p119
21		オランダ	オランダふくしま会	イシカワ タケシ 石川 武司	平成 25 年 (2013 年) 9 月 12 日	16	－	p121
22		フランス	フランス福島の会	スゲノ いづ子 菅野	平成 26 年 (2014 年) 1 月 28 日	30	－	p123
23		ドイツ	ドイツ・ノルトライン＝ヴェ ストファーレン州福島県人会	コバヤシ トシオ 小林 俊雄	平成 27 年 (2015 年) 7 月 11 日	28	－	p125
24	アジア	中国	香港華南地区福島県人会	ヤスカガワ ヤスヒロ 安力川 泰洋	平成 5 年 (1993 年)	78	－	p127
25			北京福島県人会	コバヤシ キンジ 小林 金二	平成 9 年 (1997 年) 11 月 29 日	25	－	p129
26			上海福島県人会	コクフ アキヒコ 国分 昭彦	平成 10 年 (1998 年) 7 月 23 日	200	－	p131
27			大連福島県人会	クサノ マサヤ 草野 昌谷	平成 20 年 (2008 年) 9 月	44	－	p153
28		ベトナム	在越福島県人会	アライ ユウイチ 新井 祐一	平成 26 年 (2014 年) 3 月 11 日	30	－	p133
29		シンガポール	福島シンガポール県人会	コオリ イブアキ 桑折 信明	平成 26 年 (2014 年) 6 月	25	－	p135
30		韓国	ソウル福島県人会	ナリタ マミ 成田 真美	平成 26 年 (2014 年) 9 月 26 日	33	－	p137
31		タイ王国	バンコク福島桃の会	イシカワ タカシ 石川 貴志	平成 27 年 (2015 年) 1 月 17 日	106	－	p139
32		インド	インド福島人会	タキ マサユキ 滝 将行	平成 27 年 (2015 年) 11 月	15	－	p141
33		ミャンマー	ヤンゴン福島県人会	ミゾイ マサユキ 満井 正幸	平成 28 年 (2016 年) 5 月 4 日	13	－	p143
34		台湾	台湾福島県人会	サク マ ヒロツグ 佐久間 弘次	平成 29 年 (2017 年) 3 月 13 日	45	－	p145
35		オセア	パース福島県人会	ストックトン アキコ 亜紀子	平成 25 年 (2013 年) 2 月	31	－	p147
36		ニア	シドニーふくしま会	ワタナベ ケンジ 渡辺 健二	平成 26 年 (2014 年) 12 月	30	－	p149
37			ニュージーランド	NZ オークランドふくしま会	カトウ ヤエコ 加藤 八重子	令和 2 年 (2020 年) 4 月 25 日	3	－
合計 24 か国・地域 37 県人会						3,520人	416世帯	
※	北米	アメリカ	ハワイ・アイエア福島県人会	サダム シバタ	設立年月日：不明 解散年月日：平成 24 年 (2012 年 2 月)	－	－	p156

※会員数については、各県人会の集計方法の違いにより人員と世帯数を併記。

※ハワイ・アイエア福島県人会は 2012 年に解散した。

	Region	Country/ Region Name	Kenjinkai Name	President	Date of Establishment	Members		Page
						Number	Families	
1	North America	U.S.A.	Nanka Fukushima Kenjinkai	Rumi Kumada	August, 1908 (Before WW II),May 16, 1948 (After WW II)	100	—	p85
2			Seattle Fukushima Kenjinkai	Alan Yamada	1918	60	—	p87
3			Maui Fukushima Kenjin Kai	Brian T. Moto	1920(Before WW II),March 23, 1950(After WW II)	83	—	p89
4			Honolulu Fukushima Kenjin Kai	Sadie Watanabe	1923	—	166	p91
5			Hawaii-Shima Fukushima Kenjin Doshi Kai	Winston Towata	January 30, 1954	83	—	p93
6			Hokka Fukushima Nikkeijinkai	Eiko Wapensky	April, 1960	70	—	p95
7			Hokubei IL Chicago Fukushima Kenjinkai	Toshio Suda	March 15, 1970	—	—	p155
8			New York Fukushima Kenjinkai	Sayoko Takeda	June 7, 2003	60	—	p97
9			Fukushima Prefectural Association in Washington D.C., U.S.A.	Shigeko Bork	December 28, 2016	14	—	p99
10		Canada	Canada Fukushima Kenjinkai	Seiichi Sato	February, 1982	70	—	p101
11	Latin America	Peru	Peru Fukushima Kenjinkai	Victor Sato	Novembr 10, 1915 (Before WW II), January 6, 1958 (After WW II)	1,000	250	p103
12		Brazil	Brazil Fukushima Kenjinkai	Marina Yumi Imai	October 25, 1917	200	—	p105
13			Hokuhaku Fukushima Kenjinkai	Iichi Watanabe	1957	226	—	p107
14		Argentina	Zaia Fukushima Kenjinkai	Alberto Nanami	January 22, 1939	550	—	p109
15		Paraguay	Zaipa Fukushima Kenjinkai	Tomoji Watanabe	November 15, 1972	33	—	p154
16		Dominica Repablic	Dominica Fukushima Kenjinkai	Ruriko Tamate	July, 1989	60	—	p111
17		Bolivia	Bolivia Fukushima Kenjinkai	Yukio Hasegawa	February 7, 1999	16	—	p113
18		Mexico	Mexico Fukushima Kenjinkai	Eiji Sato	May 31, 2014	41	—	p115
19		Cuba	Isla de la Juventud Cuba Nikkeijin and Fukushima Friendship Group	Ulises Rodriguez Hanzawa	February 18, 2018	52	—	p117
20		U.K.	Fukushima Prefectural Association in London	Yoshio Mitsuyama	February, 1993	50	—	p119
21	Europe	Netherlands	Netherlands Fukushima-kai	Takeshi Ishikawa	September 12, 2013	16	—	p121
22		France	France Fukushima-kai	Itsuko Sugeno	January 28, 2014	30	—	p123
23		Germany	Germany NRW Fukushima Kenjinkai	Toshio Kobayashi	July 11, 2015	28	—	p125
24	Asia	China	Hong Kong & South China Fukushima Kenjinkai Association	Yasuhiro Yasukagawa	1993	78	—	p127
25			Beijing Fukushima Kenjinkai	Kinji Kobayashi	November 29, 1997	25	—	p129
26			Shanghai Fukushima Kenjinkai	Akihiko Kokubu	July 23, 1998	200	—	p131
27			Dalian Fukushima Kenjinkai	Masaya Kusano	September, 2008	44	—	p153
28		Vietnam	Zaietsu Fukushima Kenjinkai	Yuichi Arai	March 11, 2014	30	—	p133
29		Singapore	Fukushima Singapore Kenjinkai	Nobuaki Kori	June, 2014	25	—	p135
30		South Korea	Seoul Fukushima Kenjinkai	Mami Narita	September 26, 2014	33	—	p137
31		Thailand	Bangkok Fukushima Momo no Kai	Takashi Ishikawa	January 17, 2015	106	—	p139
32		India	India Fukushima Kenjinkai	Masayuki Taki	November, 2015	15	—	p141
33		Myanmar	Yangon Fukushima Kenjinkai	Masayuki Mizoi	May 4, 2016	13	—	p143
34	Oceania	Taiwan	Taiwan Fukushima Kenjinkai	Hirotsugu Sakuma	March 13, 2017	45	—	p145
35			Fukushima Society in Perth	Akiko Stockton	February, 2013	31	—	p147
36		Australia	Sydney Fukushima-kai	Kenji Watanabe	December, 2014	30	—	p149
37		New Zealand	NZ Auckland FUKUSHIMA Kai	Yaeko Kato	April 25, 2020	3	—	p151
Total 24 Country/region 37 Kenjinkais						3,520	416	
※	North America	U.S.A.	Hawaii Aiea Fukushima Kenjinkai	Sadamu Shibata	Establishment date: unknown Date of dissolution: February 2012	—	—	p156

※ Regarding the number of members, the number of people and the number of households are listed together due to the difference in the counting method of each Kenjinkai.

※ Hawaii Aiea Fukushima Kenjinkai was dissolved in 2012.

南加福島県人会 / Nanka Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1908 年 8 月（戦前）
1948 年 5 月 16 日（戦後）
- ・ 代表者：会長 熊田 るみ
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国カリフォルニア州
- ・ 会員数：100 人
- ・ Website: <https://scalfukushimakenjinkai.org/>

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: August 1908 (Before WW II)
May 16, 1948 (After WW II)
- ・ President: Rumi Kumada
- ・ Place of Activity: California, U.S.A.
- ・ Members: 100 people
- ・ Website: <https://scalfukushimakenjinkai.org/>



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

南加(南カリフォルニア)福島県人会は1908年の設立以来、今年で113周年を迎える。第2次世界大戦中は、アメリカ政府による日本人・日系人の強制収容所での隔離政策により一時活動は停止されたが、終戦後に活動を再開した。故郷を偲ぶ親睦会として、毎年の新年会と夏の公園にメンバー全員で集まり食事を囲んできた。夏の公園での集会では、いわき市出身、国府田（こうだ）氏の遺言により、赤飯が50年以上に渡り振る舞われている。

震災後は復興支援として、福島ビジネス・観光などを各イベントブースで積極的に紹介し、会津木綿で作成した小物などの販売を通して福島のNPOに寄付を行ってきた。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Nanka (Southern California) Fukushima Kenjinkai was founded in 1908 and will celebrate its 113th anniversary in 2021. During World War II, due to U.S. Government policy, Japanese and Japanese Americans were sent to concentration camps. During this time, Kenjinkai activities temporarily ceased; however, activities resumed following the end of the war. We gathered twice a year (a New Year's meeting and a gathering at a park during summer) and enjoy a meal together while thinking about our hometown Fukushima. For more than 50 years, boiled rice with red beans (sekihan) has been donated to the summer gathering at the park through a grant set up by Mr. Koda from Iwaki City.

Following the Great East Japan Earthquake, the Kenjinkai has provided information about business and tourism in Fukushima at booths opened at events and has donated profits from the sale of goods made from Aizu cotton to an NPO in Fukushima.

■ 復興支援事業

- ・ 在外福島県人会サミット参加（第1回、第2回、第3回）
- ・ 「北米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島の復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信。（2016年度～2018年度）
- ・ 毎年参加の恒例行事：
 - ◇ピクニック（7月頃）
 - ◇現地日系農場タナカファーム主催の震災復興イベント「Walk the Farm」にブース出展し、福島県の情報を発信。（6月頃：2013年、2015年、2016年、2017年、2018年、2019年）
 - ◇在ロサンゼルス日本国総領事館主催の天皇誕生日祝賀会で県人会ブースを出展し福島県の情報を発信。（2015

年、2016 年、2017 年、2020 年)

◇ガーデナ市で開催される「東北フェア」で県内企業の出店支援。(2018 年、2019 年)

◇ロサンゼルスで開催された「二世ウィーク」にブース出展を行い福島県を PR。(2018 年、2019 年)

◇県内企業支援：2018 年 7 月 宝来屋、2018 年 3 月 五十嵐製麺

- ・2011 年 7 月：東日本大震災の義援金を福島県災害対策本部に寄付。
- ・2016 年 11 月：県との共催により福島の実況を伝えるセミナーを実施。
(つなぐ・つたえるプロジェクト)
- ・2017 年 10 月：内堀知事ロサンゼルス訪問で復興セミナーを共催。
- ・2019 年 2 月：「観光プロモーションエキスポ」で県が出展したブースを支援。
- ・2019 年 4 月：ロサンゼルス郊外の教会で開催のチャリティーコンサートで福島県の実況についてスピーチ。
- ・2019 年 6 月：「若松コロニー 150 年祭り」に参加。
- ・2019 年 6 月：Japan House で福島の物産や匠の技を紹介。
- ・2019 年 6 月：タナカファームによる福島大学での奨学金プログラム設立に協力。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・Participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd, and 3rd).
- ・Youth members participated in the “Fukushima Program for North American Kenjinkai Youths”, learned about progress in the revitalization of Fukushima and shared information on Fukushima at Kenjinkai meetings and to people around them (FY2016-2018).
- ・Annual Events
 - ◇Picnic (July)
 - ◇The Kenjinkai ran a booth at the “Walk the Farm” event hosted by Tanaka Farms, a Japanese American farm in Irvine, to support sites damaged by the Great East Japan Earthquake and provided information about Fukushima (June in 2013, 2015, 2016, 2017, 2018, and 2019).
 - ◇The Kenjinkai ran a Fukushima booth to share information about Fukushima at a celebration for the Emperor’s birthday hosted by the Consulate-General of Japan in Los Angeles (in 2015, 2016, 2017, and 2020).
 - ◇The Kenjinkai supported companies from Fukushima running booths at the Tohoku Fair in Gardena (2018, 2019).
 - ◇The Kenjinkai ran a booth to highlight Fukushima during the Nisei Week in Los Angeles (2018, 2019).
 - ◇Support for companies from Fukushima: July 2018 for Horaiya, March 2018 for Igarashi Seimen
- ・July 2011: The Kenjinkai donated funds for the victims of the Great East Japan Earthquake to Fukushima Prefectural Government Emergency Response Headquarters.
- ・November 2016: The Kenjinkai and Fukushima Prefecture jointly hosted a seminar to share recent information about Fukushima. (Tsunagu & Tsutaeru Project)
- ・October 2017: The Kenjinkai jointly hosted the Revitalization Seminar during a visit by Fukushima Governor Uchibori to Los Angeles.
- ・February 2019: The Kenjinkai supported a booth ran by Fukushima Prefecture at the Tourism Promotion Expo.
- ・April 2019: The Kenjinkai reported progress in the revitalization of Fukushima at a charity concert performed at a church in the suburbs of Los Angeles.
- ・June 2019: The Kenjinkai participated in the Wakamatsu Colony 150th Anniversary Event
- ・June 2019: The Kenjinkai introduced local specialties and masters’ skills from Fukushima at the Japan House.
- ・June 2019: The Kenjinkai provided cooperation for the establishment of a scholarship program at Fukushima University sponsored by Tanaka Farms.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

南加（南カリフォルニア）福島県人会は、福島県の企業活動や、若い人材開発のサポートをしていきたいと考えています。福島県は野口英世博士を世に送り出したチャレンジ精神に溢れた場所です。アメリカの状況を踏まえた簡単なアドバイスやマーケット・リサーチ、またアメリカの新しい教育内容の提案をいたします。特に福島県の若い世代の方々には、ぜひ夢をもってアメリカに挑んでもらえるようサポート体制を整えたいと思います。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Nanka (Southern California) Fukushima Kenjinkai will be supporting Business Promotion and Education for Youth in Fukushima. Fukushima sent Prof. Hideyo Noguchi into the world, so we have a role model for challenging the unknown.

Fukushima Kenjinkai will be providing basic support for new business models and new educational methods tailored to the United States. We want to encourage dreams and aspirations, especially for members of the younger generation interested in the United States.

シアトル福島県人会 / Seattle Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1918 年
- ・ 代表者：会長 Alan Yamada
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国ワシントン州
シアトル
- ・ 会員数：60 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: 1918
- ・ President: Alan Yamada
- ・ Place of Activity: Seattle, WA, U.S.A.
- ・ Members: 60 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

シアトル福島県人会は、家族の支援なしに福島から移住した人達が互いに助け合うために 1918 年に設立された。県人会は戦後 1950 年に再開した。現在は何人かの二世と、後はほぼ三世、四世の世代約 60 人の会員がいる。

私たちは毎年 1 月の第 3 日曜日に恒例の新年会を開催し、会員と最新の出来事を共有している。またこの機会を使って、最新のパンフレットや福島の復興情報とともに福島の魅力を紹介している。

時が過ぎるにつれて、我々の先祖のふるさと福島をあまり知らない若い会員が増えている。

県の「北米移住者子弟研修」に参加する機会を活用して、若者たちに福島県と日本について学び、福島県の歴史と文化、震災後の復興状況を体験してもらった。将来の県人会をリードする人材の育成に取り組んでいるところである。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Fukushima Club (Kenjinkai) was established in 1918 to provide support for the people who came from Fukushima without family. The club was restarted after the war in 1950.

Currently, we have about 60 members. Some are 2nd, but most are 3rd and 4th generations.

We have our annual New Year Party every third Sunday in January to catch up on current member's news. We also use this time to introduce the "charm of Fukushima" with current brochures and information about the revitalization after the earthquake.

As time goes by, there are an increasing number of younger people who do not know much about Fukushima, the hometown of our ancestors.

We have participated in "the Fukushima Program for North American Kenjinkai Youth" where they experienced the history and culture of Fukushima Prefecture and the state of revitalization after the earthquake. We are working to develop future leaders for the Kenjinkai.

■ 復興支援事業

- ・ 在外福島県人会サミット参加（第 1 回、第 3 回）
- ・ 「北米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島の復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行った。（2017 年度、2019 年度）
- ・ 2～3 万人が集まるシアトル秋祭りにて福島県ブースを設置。福島県の情報発信を行った。（2013 年、2014 年、2015 年、2016 年）
- ・ シアトル桜祭りで福島県ブースを設置。福島県の情報発信を行った。（2013 年から 2019 年、4 月）
- ・ 2014 年 3 月：「Act for Japan」に県人会が協力。

- ・2015 年 7 月：福島現状を知り、帰国後の情報発信に役立てるため、「ふるさとツアー」を企画し福島県を訪問した。
- ・2016 年 1 月：総領事館での新年会にて福島県情報を発信。
- ・2016 年 3 月：総領事館等が後援の危機管理イベントにて福島県の情報を発信。
- ・7 月にワシントンにあるベルビュー大学のメイデンバウアーセンターで開かれたジャパンフェア（元秋祭り）に参加（2017、2018、2019）
- ・ベルビュー大学にてイベント（Japan Week）に参加し、福島県の情報発信を行った。（2017、2018、2019）
- ・JET 参加者の壮行会・新年会に参加（2016、2017、2018）
- ・福島からの学生、教師、随行者一行をウェルカムディナーで歓迎した。
- ・復興について議論するために東北地域からの小中学生を受入れた。
- ・東北の大学生が小学生と「祭り」を共有した。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Participated in the “Overseas Kenjinkai Summit (1st and 3rd)”.
- ・ Young members participated in “Fukushima Program for North American Kenjinkai Youths” and learned the progress of Fukushima’s revitalization. Then they shared information about Fukushima with the Kenjinkai and other people. (2017, 2019 fiscal year)
- ・ Had a Fukushima booth at the Aki (Autumn) Matsuri Festival, which attracts 20,000 to 30,000 people. Information on Fukushima Prefecture was shared.(2013, 2014, 2015 2016)
- ・ Had a Fukushima booth at the Seattle Cherry Blossom Festival. Information on Fukushima Prefecture was shared. (April, 2013-2019)
- ・ March 2014: The Kenjinkai supported the event, “Act for Japan”.
- ・ July 2015: The Kenjinkai visited the Prefecture on a “Furusato (Hometown) Tour” to learn about Fukushima’s current situation. Information was shared with others after visiting Japan.
- ・ January 2016: Shared information on Fukushima prefecture at the New Year's party at the Consulate General Official Residence
- ・ March 2016: Information on Fukushima Prefecture was shared for the crisis management event sponsored by the Consulate General.
- ・ Japan Fair (formerly Aki Matsuri) held at Meydenbauer Center in July in Bellevue, WA (2017, 2018, 2019)
- ・ Participated in the event at Bellevue College (Japan Week) and information on Fukushima Prefecture was shared. (2017, 2018, 2019)
- ・ Participated in JET Transitions, Receptions and New Year Parties (2016, 2017, 2018)
- ・ Welcomed a group of students, teachers and chaperones from Fukushima with a dinner
- ・ Welcomed a group of students from Tohoku region to discuss the revitalization with elementary and middle school students.
- ・ College students from Tohoku shared “festival” with elementary students about Japan.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

10 年前の壊滅的な地震と津波の影響の中、福島の復興と再建に向けての献身と不屈の努力に対して、心から厚く敬意を表します。

貴県は放射能の恐怖、絶望、悲しみを伴う想像を絶する困難な中、粘り強さと忍耐を示しました。

福島県の未来が一層発展することを切に願っています。

健康で安全であり続けますよう、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

I commend Fukushima Prefecture for its dedication and perseverance during the reconstruction and restoration in the aftermath of the devastating earthquake and tsunami ten years ago.

Your Prefecture showed persistence and patience during an unimaginably difficult time of nuclear radiation fears, despair and desolation.

It is our sincere hope that the future of Fukushima Prefecture will continue to make progress.

Wishing you all the best to remain healthy, well and safe.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1920 年（戦前）
1950 年 3 月 23 日（戦後）
- ・ 代表者：会長 Brinan T. Moto
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国 ハワイ州マウイ島
- ・ 会員数：83 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: 1920 (Before WW II)
March 23, 1950 (After WW II)
- ・ President: Brinan T. Moto
- ・ Place of Activity: Maui island Hawaii, U.S.A.
- ・ Members: 83 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

マウイ福島県人会は長い歴史と伝統を持つコミュニティ組織である。20 世紀初頭に福島県出身の日本人移民（一世）によって設立されたこの県人会は、親睦、娯楽、楽しい会合を目的に友人や隣人が集まった。

その後、一世のすべてがこの世を去ったが、多くの二世と一部の三世が組織を運営し続けている。

一方、マウイ福島県人会会員は、Facebook やその他のソーシャルメディアに、福島とそこに住む人々、その魅力に関する写真や情報を投稿している。

会員は、毎年恒例のマウイ祭りへの支援、参加をとおして、福島県やその文化、歴史、人、県産品に関する情報を共有している。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Maui Fukushima Kenjin Kai is a community organization with a long history and happy traditions. Founded in the early 20th century by Japanese immigrants (Issei) from Fukushima Prefecture, the club brought together friends and neighbors for fellowship, fun, and joyous gatherings.

Although all of the Issei have since passed away, as have most of the Nisei, a modest group of Sansei continue to help lead the organization.

In the meantime, Maui Fukushima Kenjin Kai members post pictures and information about Fukushima and its people and attractions on Facebook and other social media.

Club members have supported and participated in annual celebrations of Maui Matsuri, a community festival at which information about Fukushima Prefecture, its culture, history, people, and products, are shared.

■復興支援事業

- ・在外福島県人会サミット参加（第1回、第2回、第3回）
- ・2013年5月：マウイ祭りにて福島県をPR。現地に渡航した福島県民と祭りを盛り上げた。
- ・2018年6月：ホノルル福島県人会創立95周年記念式典に参加。鈴木副知事の復興セミナーを聴講。
- ・2020年1月：「北米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島の復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行った。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Participated in the “Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd and 3rd)”
- ・ May 2013: Promoted Fukushima Prefecture at the Maui Festival. The festival was celebrated with the citizens of Fukushima who traveled there.
- ・ June 2018: Participated in “the 95th anniversary ceremony of Honolulu Fukushima Kenjinkai”. And attended Fukushima Revitalization Seminar by the Vice Governor.
- ・ January 2020: Young members participated in the “Fukushima Program for North American Kenjinkai Youths” and learned the progress of revitalization of Fukushima. Then they shared information of Fukushima to Kenjinkai and other people.

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

この度、東北地方太平洋沖地震・津波の10年を迎え、マウイ福島県人会の役員・メンバーは、福島県と福島県民に心から敬意を表します。

私たちは皆様と一緒に、悲惨な出来事と災害で失ったもの思い出し、亡くなったすべての人たちの御冥福をお祈りいたします。私たちは、コミュニティと社会の再建と未来への計画を可能にしてきた皆様の強さ、回復力、そして不屈の精神と美徳を誇りに思い、心からたたえます。

皆様はいつも私たちの心の中にあり、私たちの友好の絆は永遠に続きます。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

On this, the tenth anniversary of the Great East Japan Earthquake and tsunami, the officers and members of Maui Fukushima Kenjin Kai extend to the government and people of Fukushima Prefecture our sincere aloha.

We join with you in remembering the tragic events and losses of the disaster, and we pray for the peaceful repose of all those who died. We express pride and admiration in your strength, resilience, and fortitude, virtues that have allowed you to rebuild your communities and society and plan for the future.

You are always in our hearts, and our bonds of goodwill will last forever.

ホノルル福島県人会 / Honolulu Fukushima Kenjin Kai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1923 年
- ・ 代表者：会長 セイディ・ワタナベ
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国
 ハワイ州ホノルル
- ・ 会員数：166 世帯

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: 1923
- ・ President: Sadie Watanabe
- ・ Place of activity: Honolulu, Hawaii, U.S.A.
- ・ Members: 166 families



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

コミュニティと連帯を求めて、福島からの移民は1923年、古関勇次を初代会長として、ホノルル福島県人会（HFKK）を設立した。2021年で創立98周年を迎え、日系三世を中心に166世帯の会員を擁する県人会が様々な活動に積極的に参加している。

先祖の故郷である福島県をよく知らない若い世代が増える中、福島県の「北米移住者子弟研修」への参加を契機に若い世代がつながり、福島の歴史や文化、そして復興に向けた取り組みの関心を深めている。

将来、しっかりと県人会を担う若者の人材育成に取り組んでおり、それが福島の伝統的な価値観、習慣、振る舞いを受け継ぎ、ハワイの多民族社会に調和させていくことになると考えている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Seeking community and solidarity, immigrants from Fukushima established Honolulu Fukushima Kenjin Kai (HFKK) in 1923 with Yuji Koseki as its first President. This year marks the 98th year since it was founded and our Kenjinkai with 166 families, currently consisting mainly of sansei descendants, are actively participating in various activities.

With an increasing number of our younger generation who are not knowledgeable about Fukushima Prefecture, the hometown of their ancestors, they have an opportunity to participate in the Fukushima Program for “North American Kenjinkai Youths” where the younger generation can connect with their relatives as well as deepen their interest about the history and culture of Fukushima Prefecture and its reconstruction efforts. We are working towards nurturing our youth resources so they can one day responsibly lead the Kenjin Kai in the future to preserve traditional values, customs and attitudes of their Fukushima heritage and to integrate them into Hawaii’s multi-ethnic society.

■ 復興支援事業

- ・ 2011年3月：毎年恒例のホノルル・フェスティバルで福島県のPRと情報提供を行った。（2011年～2019年）
- ・ 県に東日本大震災の寄附金を送った。（2011年4月、10月、2013年6月、2016年7月）
- ・ 2011年7月から9月：県人会サマーピクニックに福島県のアロハ・イニシアチブ参加者を招待した。
- ・ 2013年10月：ホノルル福島県人会90周年式典に佐藤知事（当時）が出席。
- ・ 県人会による「ふるさとツアー」を実施。知事表敬や県内視察を行った。
（2014年4月：31名、2017年7月：88名、2019年10月：32名が来県）
- ・ 天皇誕生日レセプションにて本県情報を発信。（2014年～2020年）
- ・ 2016年3月：総領事館等の「ホノルル・フェスティバル前夜祭及び東日本大震災5周年式典」にて福島県情報を発信した。

- ・2016年3月：東北地方の復興活動を記念して、ハワイ曹洞宗両大本山ハワイ別院正法寺にプルメリアの木を植樹した。
- ・2016年11月：県との共催により福島の実況を伝えるセミナーを実施。
(つなぐ・つたえるプロジェクト)
- ・2018年6月：ホノルル福島県人会創立95周年記念式典開催
同式典の前段で鈴木副知事が「福島復興セミナー」を実施。
- ・ハワイ東北レインボープロジェクトで福島の高校生をハワイに迎えた。
(2016年12月、2019年3月)

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ March 2011: At the annual Honolulu Festival, the members promoted and shared information about Fukushima Prefecture. (March 2011 to March 2019)
- ・ Great East Japan Earthquake contributions and donations
(April and October 2011, June 2013, July 2016)
- ・ July to September 2011: Kenjin Kai invited Fukushima Aloha Initiative participants to join the Kenjin Kai summer picnic.
- ・ October 2013: Honolulu Fukushima Kenjin Kai held 90th Anniversary Celebration with the presence of former Fukushima Prefectural Governor, Yuhei Sato.
- ・ HFKK held several Furusato Tours. Participants visited several places in Fukushima Prefecture and courtesy calls were made to the Governor.
(31 participants in April 2014, 88 participants in July 2017, 32 participants in October 2019)
- ・ Emperor's Birthday Reception at the Consulate General of Japan where information on the prefecture was shared and folk craft items were displayed. (2014 to 2020)
- ・ March 2016: Kick-off party for Honolulu Festival and “The 5th Anniversary of the Great East Japan Earthquake” held at the Consulate General of Japan—information on Fukushima Prefecture was shared.
- ・ March 2016: Planted a plumeria tree at Soto Mission of Hawaii as a symbol to honor the recovery efforts in the Tohoku area.
- ・ November 2016: “A Brighter Future for Fukushima Symposium”. Forum to connect with the public and to explain the current situation of Fukushima’s revitalization activities and programs, held in collaboration with the prefectural government.
- ・ June 2018: Honolulu Fukushima Kenjinkai 95th Anniversary Celebration where the Vice Governor Suzuki presented a Fukushima Reconstruction PowerPoint presentation to the general public prior to the celebration.
- ・ Hawaii-Tohoku Rainbow Project where HFKK welcomed high school students from Fukushima during their stay in Honolulu. (December 2016 and March 2019)

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

2011年3月11日の運命の日から10年が過ぎたことが信じられません。日本における最大級の地震を記録し、これが引き起こした津波はあらゆるものを飲み込み、東北地方の海岸線を壊滅させました。

インフラの復旧、新技術の活用、環境問題への対応、経済の復興など、福島県と県民が3つの大災害から復興に向けて飛躍的な前進を遂げたことを心から嬉しく思います。

ホノルル福島県人会は、復興への取組を引き続き支援するとともに福島県を訪れるのは安全だということを広めることを約束し、これからも私たちの「ふるさと」福島県を応援していく所存です。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

It hardly seems that ten years have passed since that fateful day on March 11, 2011 when the Great East Japan Disaster occurred and recorded as the most powerful earthquake in Japan, followed by an overwhelming tsunami which devastated the coastline of the Tohoku area.

Congratulations to Fukushima Prefecture and its people for the phenomenal strides they have made to restore the prefecture to what it was prior to the triple disasters as evidenced in the reconstruction of the infrastructure, utilization of new technology, response to environmental issues, and restoration of the economy.

The Honolulu Fukushima Kenjin Kai pledges to continue to support the revitalization programs and spread the word that Fukushima Prefecture is a safe place to visit. As always, we in Hawaii, are ready to assist and support Fukushima Prefecture, our furusato, in every way possible.

ハワイ島福島県人同志会 / Hawaii-Shima Fukushima Kenjin Doshi Kai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1954 年 1 月 30 日
- ・ 代表者：会長 Winston Towata
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国
 ハワイ州ハワイ島
- ・ 会員数：83 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: January 30, 1954
- ・ President: Winston Towata
- ・ Place of activity: Island of Hawaii Hawaii, U.S.A.
- ・ Members: 83 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ハワイ島福島県人同志会は1954年に「コイケ ツネオ」と「カンノ セイイチ」によって設立された。私たちの使命は福島のリーツ、文化、芸術をハワイから広く世界へ発信し、発展させていくことである。

現在、日系人藻二世と三世を中心に約83名の会員がおり、年次総会では福島県の経済復興への取組に関する新しい情報を共有している。

福島県人同志会を永続させるために、私たちは全ての活動に若手会員を参加させ、北米移住者子弟研修への参加も推奨している。彼らが私たちの組織の将来のリーダーである。

過去6年間、私たちが地域のために取り組んできた主な活動1つは、“ヒロのリリウオカラニ庭園”（日本国外で最大の本格的な観賞用日本庭園）の整備と清掃を手伝い、庭園の保護を支援していくことだった。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Hawaii Shima Fukushima Kenjin Doshi Kai was founded in 1954 by Tsuneo Koike and Seiichi Kanno. Our mission is to promote and perpetuate Fukushima heritage, culture and arts. Presently we have approximately 83 members mainly 2nd and 3rd generation of Nikkei. At our annual meeting, we update our members and the community of Fukushima prefecture's efforts in revitalizing their economy.

To perpetuate our Fukushima Kenjin Doshi Kai, we involve our younger members in all of our activities and encourage them to participate in the Fukushima program for North American Kenjinkai Youths. They are the future leaders of our organization.

For the past 6 years, one of our main community service projects has been helping to maintain the Hilo Liliuokalani Gardens (the largest authentic ornamental Japanese garden outside of Japan).

■復興支援事業

- ・在外福島県人会サミット参加（第1回、第2回、第3回）
- ・「北米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行った。（2014年度、2018年度）
- ・日系人協会主催の「文化の日」イベント（パレードで行進し、フードブースに人を配置）に参加。福島県からのパンフレットや物品を配布した。（2015年11月、2017年11月、2019年11月）
- ・ハワイ大学ヒロ校で新年祭りに参加し、大学生、高校生向けにグループセッションを開き、パンフレットやチラシの配布を通して福島復興をアピールした。（2018年1月、2019年1月）
- ・ハワイ大学ヒロ校で開催されたひな祭りに福島県ブースを出展し、福島の芸術と産業をアピールした。（2019年3月）

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Participated in “Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd and 3rd)”
- ・ Young members participated in the “Fukushima Program for North American Kenjinkai Youths and learned the efforts and progress of revitalization of Fukushima. They shared information obtained from this activity to our members and the public. Participated in 2014 and 2018 fiscal year.
- ・ November 2015, 2017 and 2019 Participated (marched in the parade and ran a food booth) in the Japanese Culture Day (Bunka No Hi) event sponsored by the Nikkei Association. Distributed brochures and items from Fukushima.
- ・ January 2018 and 2019 participated in the New Year’s Festival at the University of Hawaii at Hilo to promote the recovery efforts of Fukushima through small group session talks and distribution of pamphlets and brochures for college and high school students.
- ・ March 2019: At the Hinamatsuri festival held at the University of Hawaii at Hilo, we showcased Fukushima arts and industries.

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

ハワイ島福島県人同志会は、震災から10年を迎え、これまで復興に取り組んでこられた福島の方々に敬意を表します。

皆さんの卓越した努力により、福島のことのことが広く知られるようになってきました。ワールド福島県人会は福島への支援活動に向けて、その結束を強めています。ハワイ島福島県人同志会は震災から10年の節目を迎えるにあたり、改めて皆さんの復興する姿を讃えたいと思います。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

The Hawaii Shima Fukushima Kenjin Doshi Kai would like to commend you on your 10th year in revitalizing Fukushima. Through your outstanding efforts, Fukushima is being successfully promoted. The World Fukushima Kenjin Kai has formed a bond to work together for Fukushima. The Hawaii Shima Fukushima Kenjin Doshi Kai sends our congratulations on your 10 year anniversary of recovery.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1960 年 4 月
- ・ 代表者：会長 Wapensky 英子
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国
カリフォルニア州サンフランシスコ市
- ・ 会員数：70 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: April 1960
- ・ President: Eiko Wapensky
- ・ Place of Activity: San Francisco California, U.S.A.
- ・ Members: 70 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

1960 年代以前、サンフランシスコ市内では他県の県人会が設立されていたことから、福島県出身者らも 1960 年に県人会を設立し、現在に至っている。会員は日本からの移住者とその子孫である二世、三世。新年会や特別な催しがあるときに集まり、会員間の親睦を図っている。2009 年、県の「北米移住者子弟受入研修」が開始。福島を知らない若い世代に参加してもらい将来の県人会を担う人材の育成に努めている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Before the 1960s, other prefectures' Kenjinkais were established in San Francisco. Emigrants from Fukushima also established a Kenjinkai in 1960. It now consists of the 1st, 2nd and 3rd generations of emigrants from Japan. We gather at a New Year's party and special events to promote interactions. In 2009, the Fukushima Program for North American Kenjinkai Youths was started by Fukushima Prefecture. We have sent young members to learn about Fukushima and have cultivated individuals willing and able to lead the Kenjinkai into the future.

■ 復興支援事業

- ・ 在外福島県人会サミット参加（第 1 回、第 2 回、第 3 回）
- ・ 「北米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島の復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行った。（2014 年）
- ・ 2011 年 5 月：東日本大震災の義援金を福島県へ寄附。
- ・ 2011 年 7 月：「北米移住者子弟研修」の研修生が父親のビジネス関係者から集めた義援金をハワイの NPO 法人を通して福島県に寄附。
- ・ 2012 年 2 月：当会の新年会で集めた義援金を「福島の子供を救う会」に寄附。
- ・ 2013 年 1 月：県人会の新年会で行った「いいたてネーションの会」の作成したクラフト販売で会員が購入し協力。
- ・ 2013 年 5 月：「若松コロニーフェスティバル」でスピーチを行った会津短大の学生らのサンフランシスコ市滞在中のお世話で協力。
- ・ 2014 年 7 月：「福島キッズカリフォルニア」で福島県の高校生（2 名）が NGO から招待された際、寄附と学生達のお世話で協力。
- ・ 2015 年 4 月：サンフランシスコ日本町「北加桜祭り」で福島県の情報発信。
- ・ 2015 年 8 月：「福島キッズカリフォルニア」に福島から高校生（10 名）が招待された際に、寄附と学生達のお世話で協力。
- ・ 2015 年 12 月：在サンフランシスコ日本国総領事館主催の天皇誕生日レセプションで福島県の情報を発信。
- ・ 2016 年 3 月：サンフランシスコ日本文化コミュニティセンターで開催された「Relief Recovery Rebuild」に参加し福島県の情報を発信。
- ・ 2017 年 10 月：福島の高校生（3 名）がスピーチを行った、バークレー国立研究所とカリフォルニア大学バークレー校日本研究センター主催イベントに参加し、福島県の情報を発信。

- ・ 2018 年 4 月：サンフランシスコ日本町「北加桜祭り」で福島県情報を発信。
- ・ 2018 年 6 月：「NA SALES RESTAURANT SHOW」で県内企業（大和川酒造）の出店販売に協力。
- ・ 2019 年 6 月：「若松コロニー 150 年祭り」が開催され、2 日間ブースを出展し福島県情報を発信。
- ・ 2019 年 9 月：県内企業（五十嵐製麺）のサンフランシスコベイエリアの日系、アジア系小売店訪問に協力
- ・ 2019 年 10 月：Millbrae 市で開催された「日本文化祭り」で福島県情報を発信。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Participation in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd, and 3rd)
- ・ Youth members participated in the “Fukushima Program for North American Kenjinkai Youths”, learned about progress in the revitalization of Fukushima and shared information on Fukushima at Kenjinkai meetings and to people around them (2014).
- ・ May 2011: The Kenjinkai collected donations for the victims of the Great East Japan Earthquake. The donations were sent to Fukushima Prefectural Government.
- ・ July 2011: A participant of the “Youths Program” donated funds collected from people associated with his father’s business to Fukushima Prefecture.
- ・ February 2012: The Kenjinkai donated funds collected at the New Year’s gathering to the Association for Supporting Children in Fukushima.
- ・ January 2013: Members of the Kenjinkai purchased crafts made by the Iitate Nation Group sold at the Kenjinkai’s New Year’s gathering.
- ・ May 2013: The Kenjinkai supported a student from Aizu Junior College and others who made a speech at the Wakamatsu Colony Festival.
- ・ July 2014: The Kenjinkai supported two high school students from Fukushima invited by an NGO to the Fukushima Kids California and cooperated by collecting donations.
- ・ The Kenjinkai shared information about Fukushima at the Northern California Cherry Blossom Festival in Japan Town, San Francisco.. (April 2015, 2018)
- ・ August 2015: The Kenjinkai supported 10 high school students from Fukushima invited to the Fukushima Kids California.
- ・ December 2015: The Kenjinkai shared information about Fukushima at a celebration for the Emperor’s birthday hosted by the Consulate-General of Japan in San Francisco.
- ・ March 2016: The Kenjinkai participated in Relief Recovery Rebuild at the Japanese Culture Community Center in San Francisco and shared information about Fukushima.
- ・ October 2017: The Kenjinkai participated in an event hosted by the Lawrence Berkeley National Laboratory and the University of Berkeley Center for Japanese Studies where three high school students from Fukushima made a speech.
- ・ June 2018: The Kenjinkai supported a sales booth for Yamatogawa Brewery from Fukushima at the NA SALES RESTAURANT SHOW.
- ・ June 2019: The Kenjinkai participated in the Wakamatsu Colony 150th Anniversary event and ran a booth for two days to share information about Fukushima.
- ・ September 2019: The Kenjinkai supported Igarashi Seimen (a noodle manufacturer) from Fukushima visiting Japanese and Asian retail stores in the San Francisco Bay Area.
- ・ October 2019: The Kenjinkai participated in the Japanese Culture Festival in Millbrae and shared information about Fukushima.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災、2019 年 10 月 12 日、台風 19 号襲来。

これらは未曾有の災害となりました。さらに 2019 年 11 月終わり頃から新型コロナウイルスが蔓延し、いまだ終息の見通しが立たない状況となっております。このような中、福島県の復興は前途多難な道のりが続いていると思われます。これまで福島県民は十分苦しみに耐え忍んできました。もうこれ以上の災害が起こらないことを願うばかりです。北加福島日系人会のメンバーはいつもふるさと福島に心を寄せています。ともに苦悩、悲しみを分かち合い、最後は大きな笑顔になりましょう！福島支援続けてまいります。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Following the Great East Japan Earthquake on March 11, 2011, typhoon No.19 hit Fukushima on October 12, 2019. Both caused significant damage to the area. Added to this, people around the world have been dealing with COVID-19 since the end of November 2019, and we are not certain when it will end. Under such circumstances, we feel sorrow thinking of the obstacles that the people of Fukushima continue to face as they strive for restoration and revitalization. We pray that the people of Fukushima will never again have to face such overwhelming tragedy. The people of Fukushima are forever in the hearts of the members of the Hokka Fukushima Nikkeijinkai, and we fervently hope that despite the great pain that we all feel, we will one day soon be able to smile together.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2003 年 6 月 7 日
 - ・ 代表者：会長 竹田 小夜子
 - ・ 活動中心地：アメリカ合衆国ニューヨーク市
 - ・ 会員数：60 人
- <https://www.facebook.com/NyuyokuFuDaoXianRenHuiNewYorkFukushimaKenjinkai/>

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: June 7, 2003
- ・ President: Sayoko Takeda
- ・ Place of Activity: New York, U.S.A
- ・ Members: 60 people
- ・ Facebook:
<https://www.facebook.com/NyuyokuFuDaoXianRenHuiNewYorkFukushimaKenjinkai/>



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

2001 年 9 月 11 日の同時多発テロをきっかけに、ニューヨークとその周辺に住む福島県人のセーフティネットとして県人会の必要性を感じ、2003 年に正式に会が発足。年に何度か集まって、会員同士の親睦を深めている。

2010 年からは「ほくほく会」（東北六県プラス北海道連合会）として活動することも多くなっている。2012 年 3 月から毎年欠かさず開催している「3.11 ほくほく会追悼式」は、大使夫妻ご臨席のもと、ニューヨークにおける日系人コミュニティの最大の催し物の一つとなっている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Since the 9/11 in 2001, we felt the need for a Kenjinkai as a safety net for emigrants from Fukushima living in New York and the surrounding area. This Kenjinkai was established in 2003, and we gather several times a year to deepen interactions among members.

From 2010, we have often held events jointly with Hokuhoku-kai (an association of Hokkaido and six prefectures in Tohoku Region). The 3/11 Hokuhoku-kai Memorial Ceremony that has taken place each year since March of 2012 with the participation of the Japanese Ambassador to New York and his wife has become one of the major events in the Japanese community in New York.



■復興支援事業

- ・在外福島県人会サミット参加（第1回、第2回、第3回）
- ・2012年から現在までの毎年3月に、「3.11 ほうほう会追悼式」を開催し、福島からの被災地報告を欠かさず行っている。
- ・2016年10月：知事米国訪問に際し、ふくしまから感謝のタベレセプション、並びに野口英世博士墓所訪問に協力した。
- ・2018年3月：グランドセントラル駅でのジャパンデーにて福島県の情報を発信した。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd, and 3rd).
- ・ 3/11 Hokuhoku-kai Memorial Ceremony has been held in March since 2012 and the Kenjinkai joins each year to report progress in the revitalization of Fukushima.
- ・ October 2016: When the Governor of Fukushima visited the United States, the Kenjinkai helped to organize a reception and a visit to the grave of Hideyo Noguchi.
- ・ March 2018: The Kenjinkai shared information about Fukushima at Grand Central Station on Japan Day.

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

福島第一原子力発電所の廃炉に向けた科学技術に世界中の注目が集まっています。何もかもが世界初ということで、この分野では今や福島が世界をリードしていることを、私たちニューヨーク福島県人会員は心より誇りに思っています。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

The science and technology being applied to the decommissioning of the Fukushima No.1 Nuclear Power Station has attracted attention. Everything that is being attempted at the power plant is being attempted for the first time, meaning that Fukushima is leading the world in the development of technology that is sure to be of immeasurable value to nations around the world.

米国ワシントン DC 福島県人会 / Fukushima Prefectural Association in Washington D.C., U.S.A

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2016 年 12 月 28 日
- ・ 代表者：会長 ボーク 重子
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国ワシントン D.C.
- ・ 会員数：14 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: December 28, 2016
- ・ President: Shigeko Bork
- ・ Place of Activity: Washington D.C., U.S.A
- ・ Members: 14 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

米国ワシントン DC 福島県人会は 2016 年の設立以降、現地駐在員やその家族、現地移住者や福島県にゆかりのある現地在住者を中心に活動を行っている。年間行事としては毎年 3 月から 4 月にかけて行われる桜まつり（一国を祝うお祭りとしては全米最大）期間中に催される「桜まつりストリートフェスティバル」に出展し、福島県の魅力を紹介し、福島県の復興情報を発信している。また年数回の会員イベントで会員間の親睦を図っている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Since its foundation in 2016, the activities of the Fukushima Prefectural Association in Washington D.C. have mainly been conducted by the emigrants from Fukushima, and employees assigned to the office in Washington D.C. and their families. We hold a booth annually at the Cherry Blossom Street Festival during the Cherry Blossom festival, which is the largest festival of Japan in the United States, from March to April, to highlight Fukushima and report progress in the revitalization of Fukushima. We also hold several events to promote interactions among members.



■復興支援事業

- ・ 2017 年 11 月：在外福島県人会サミット参加（第 3 回）
- ・ 2017 年 4 月：ワシントン桜祭りにて福島県ブースを設置。福島県情報の発信を行った。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ November 2017: Participation in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (3rd)
- ・ April 2017: The Kenjinkai held a Fukushima booth to highlight Fukushima at the Cherry Blossom Festival in Washington D.C.

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

震災から 10 年目を迎え、改めて福島県の素晴らしさ、福島県で生まれ育った喜びを噛み締めています。この 10 年、本当に大変だったことでしょう。ですが福島県の皆さんはたとえどんなに辛くても前を向いて前進し続けました。その福島が強さが県を離れ、国を離れ生きている私たちの励みとなっています。私たちを支えてくれる福島の方々のためにも米国ワシントン DC 福島県人会一同、これからも福島県の素晴らしさをアメリカの首都ワシントン DC で伝えていきたいと思っています。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

It has been 10 years since the Great East Japan Earthquake. We recognize Fukushima's good points and feel the pleasure of having been born and raised there. The people of Fukushima have continued moving forward under tragic circumstances, and their strength encourages those of us living away from home. The Fukushima Prefectural Association in Washington D.C. continues telling people here about how wonderful Fukushima is.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1982 年 2 月
- ・ 代表者：会長 佐藤 清一
- ・ 活動中心地：カナダ オンタリオ州、
ブリティッシュ・コロンビア州
- ・ 会員数：70 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: February, 1982
- ・ President: Seiichi Sato
- ・ Place of activity: Ontario B.C., Canada
- ・ Members: 70 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

カナダ福島県人会は、1982 年に東部のオンタリオ州のトロント、そして 2001 年に太平洋岸のブリティッシュ・コロンビア州にも設立された。設立以降、新たな土地で人生を切り拓きたいと、カナダにロマンを求めて来た移住者とその家族を中心に活動を行っている。

年間行事としては、花見やバーベキューなどの会員間での懇親会を開催している。

カナダはリーズナブルな医療制度や高齢者をサポートする高度な福祉環境の整備など、どの国からの難民でもすぐに人生に希望が持てる政策を進めており、この移民や難民にやさしい政策の恩恵で、カナダの福島県人会員はほとんどが市民権や永住権を取得して、カナダの社会に溶け込んでいる。

県人会では福島県からカナダに来られる方々のお役に立つことと、これからもカナダ独特の寛容な社会の特徴を生かしつつ、両国が、経済や文化的発展を続けられるようその懸け橋になりたいと願っている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Canada Fukushima Kenjinkai was established in 1982 in Toronto, Ontario, in eastern Canada, with a second chapter founded in 2001, in British Columbia on the Pacific Coast. From the beginning, our activities have focused on immigrants and their families who have sought a sense of adventure in Canada and want to forge a new life in a new land, and we hold annual social gatherings for our members, such as cherry blossom viewing and barbecues.

Canada as a whole is also pursuing policies toward enabling refugees from any country to find immediate hope in their life, such as through a reasonable healthcare system and a sophisticated welfare environment that supports the elderly. Thanks to the country's immigrant- and refugee-friendly policies, a majority of the foreign members of Canada Fukushima Kenjinkai have acquired either citizenship or permanent residency status and have been able to fully integrate into Canadian society.

At Canada Fukushima Kenjinkai, we want to continue to be of assistance to those who come to Canada from Japan's Fukushima Prefecture. We also hope to take full advantage of Canada's well-known characteristic as a broad-minded, tolerant society and serve as a bridge between the two countries so that they are able to further develop their economic and cultural ties.

■復興支援事業

- ・ 2017 年 11 月：在外福島県人会サミット参加（第 1 回、第 2 回、第 3 回）
- ・ 各種講演会にて福島県の現状や温泉について講演を実施（2018 年、2019 年、2020 年）

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ November 2017: Participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd & 3rd)
- ・ Held presentations on hot springs and the current situation in Fukushima Prefecture at various lecture meetings (2018, 2019, 2020)

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

カナダから見ると福島県は復興・創生期間も終わり、復興への歩みを確かなものになっているように感じられます。今度はコロナといった考えられないようなことも起こっていますが、どこの国でも大災害後の復興は時間のかかるものです。1 日も早い復興を心よりお祈りいたしておりますが、焦らずゆっくり進んでいきましょう。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Looking at things from Canada, it is our sense that Fukushima Prefecture has completed a period of reconstruction and revitalization, and that they are now taking solid steps on the ultimate road to revitalization. At the present time, we are all facing unimaginable issues, like the coronavirus, but full recovery after a major disaster takes time for anyone. Thus, while we sincerely pray for Fukushima's earliest possible revival, it is also our hope that they are able to proceed deliberately, without haste.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1915 年 11 月 10 日（戦前）
1958 年 1 月 6 日（戦後）
- ・ 代表者：会長 Victor Sato
- ・ 活動中心地：ペルー共和国リマ市
- ・ 会員数：1,000 人、250 世帯
- ・ Facebook: https://www.facebook.com/Per%C3%BA-Fukushima-Kenjinkai-360713771413810/?ref=br_rs

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment:
November 10, 1915 (Before WW II)
January 6, 1958 (After WW II)
- ・ President: Victor Sato
- ・ Place of activity: Lima, Peru
- ・ Members: 1,000 people, 250 families
- ・ Facebook: https://www.facebook.com/Per%C3%BA-Fukushima-Kenjinkai-360713771413810/?ref=br_rs



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ペルー福島県人会は 1915 年 11 月に福島県からの移民 15 人によって設立された。初代会長は「シモヤマ ジュウベイ」氏。

現在、日系二世、三世を中心に約 250 世帯が会員となっている。

私たちは県人会として、毎年 1 月に行われる新年会や、母の日、父の日、「祭り」や「県人会スポーツフェスティバル」のような日系コミュニティ主催のお祭りへの参加など、毎年開かれる様々な活動を通して会員間の友情を深めている。

これらの活動は、県人会が福島県の魅力と福島県の復興情報を会員全体に紹介するのに役立っている。

近年は、祖先の故郷である福島をあまり知らない若者が増えている。県の「中南米移住者子弟研修」に参加する機会を得た若い会員が、福島県と日本に関すること、福島で学んだこと、福島県の歴史と文化、震災後の復興状況について他の会員にも伝えている。このように私たちは、県人会の未来を担う人材の育成に取り組んでいます。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Peru Fukushima Kenjinkai was established in November 1915 by 15 immigrants from the prefecture and its first president was Mr. Jubei Shimoyama.

Currently, there are about 250 families, mainly 2nd and 3rd generation of Nikkei.

As a Kenjinkai, we promote friendship among our members through various activities that are held every year, such as the Shinnenkai celebration in January, Mother and Father's Day celebration, and participation in festivals that are organized by the Nikkei community such as Matsuri and the "Kenjinkai's Sport Festival". These activities help the Kenjinkai introduce the charm of Fukushima Prefecture, and Fukushima's revitalization information to all of its members.

Nowadays, there is an increasing number of young people who do not know much about Fukushima, the hometown of their ancestors. Our young members who were given the opportunity to participate in "the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths" help us let others learn about Fukushima Prefecture and Japan, what they experienced, the history and culture of Fukushima Prefecture, and the state of revitalization after the earthquake. We are working on the development of human resources who will lead the future of our Kenjinkai.

■復興支援事業

- ・在外福島県人会サミット参加（第1回、第2回、第3回）
- ・「中南米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行った。（2013年度～2019年度）
- ・「県費留学生受入事業」：約11か月間、福島県内の大学等に留学し福島復興状況を経験し、父の日や母の日の行事で県人会や周囲に情報発信を行った。（2018、2019年）

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Participated in the “Overseas Kenjinkai Summit (1st, 2nd and 3rd)”.
- ・ Young members participated in the “Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths” and learned the progress of revitalization of Fukushima. Then they shared this information to the Kenjinkai members and other people in our community. (from 2013 to 2019 fiscal year)
- ・ Young members participated in the “Fukushima Prefectural Government Scholarship Program”. They studied abroad at universities in Fukushima Prefecture for about 11 months, experienced the situation of revitalization in Fukushima Prefecture. Then, they shared this information to the Kenjinkai and others on a special presentation held during Mother & Father’s Day yearly celebration. (2018, 2019 fiscal year)

■震災後10年を迎えるに当たっての福島県へのメッセージ

皆様、悲惨な災害から10年が過ぎました。ペルーから我々の声を届けるとともに、福島イメージの再構築・改善に向けたこの10年間の多大な努力と素晴らしい業績を嬉しく思います。

世界中の県人会はあなた方のご支援と絶え間ない努力によって強い絆を作り上げました。

私たちは皆様の業績に対し心から感謝するとともに、その業績を讃え、敬意を表します。

これからもよろしくお願いいたします。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Dear friends, ten years have passed since the terrible disaster; please receive our greetings from Peru and our congratulations for the enormous effort and excellent work done during these past years in order to rebuild and improve the image of Fukushima.

The Kenjinkais around the world have built strong ties thanks to your support and continue effort. We are extremely grateful and admire and respect your accomplishments. Thank you so much.



■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1917 年 10 月 25 日
- ・ 代表者：会長 今井 由美・マリナ
- ・ 活動中心地：ブラジル連邦共和国サンパウロ市
- ・ 会員数（2019 年）：200 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: October 25, 1917
- ・ President: Marina Yumi Imai
- ・ Place of Activity: Sao Paulo, Brazil
- ・ Members (as of 2019): 200 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ブラジル福島県人会（サンパウロ市）では、1917 年の設立以降、2021 年に 104 周年を迎え、現在、日本からの移住者の子孫である二世、三世を中心に 200 名の会員で活動している。本部の年間行事としては、毎年 7 月初旬に開催される県連主催の「日本祭り」への参加や県人会館での「喜多方ラーメン祭り」、カラオケ教室、カラオケ大会、手芸教室、慈善バザー、ボードゲーム、東北 6 県と北海道との合同運動会、ゲートボール大会の当県人会代表（永山氏）の参加。各支部（4 支部）の活動としては、毎年の新年会、モジ支部の毎年の敬老会、和太鼓、盆踊り、運動会等、会員間の親睦を図り、福島県の魅力の紹介や福島県の復興情報のアピールをしている。

若い会員の数は増えたが、若い会員は福島県についてはあまりよく知らない。最近では若い世代に福島県や日本について知ってもらうために、県の「県費留学生受入事業」や「中南米移住者子弟受入研修」に参加して、福島県の歴史や文化、震災後の復興の様子を体験してもらうなど、将来の県人会を担う人材の育成に努めている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Brazil Fukushima Kenjinkai (Sao Paulo) was founded in 1917 and will celebrate its 104th anniversary in 2021. It currently has approximately 200 members, and most are 2nd and 3rd generation emigrants from Japan. It participates in the annual Japan Festival hosted by the Japanese Prefectural Association of Brazil in early July, the Kitakata Ramen Festival held at the Kenjin Hall, Karaoke classes and competitions, handicraft classes, charity bazaars, board game events, a joint sports festival for Hokkaido and six prefectures in the Tohoku Region, a gate ball competition (with the participation of Mr. Nagayama, the representative of the Kenjinkai). Four kenjinkai branches promote interactions among members to highlight Fukushima and provide information about progress in the revitalization of Fukushima at New Year's gatherings, Respect for the Aged Day celebrations (Mogi Branch), Japanese drum festivals, bon dance festivals, sports festivals, etc.

The number of young Fukushima Kenjinkai members has increased, and these members are relatively unfamiliar with Fukushima. To encourage these new members to learn more about Fukushima and Japan, the Fukushima Kenjinkai promotes the Fukushima Prefectural Government Scholarship Program and the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths to provide youth members with opportunities to learn firsthand about the history and culture of Fukushima, and to experience progress in the revitalization of Fukushima after the Great East Japan Earthquake with the aim of continuing Kenjinkai activities in the future.

■ 復興支援事業

- ・ 在外福島県人会サミット参加（第 1 回、第 2 回、第 3 回）
- ・ 「中南米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島県の復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行った。（2013 年度～2019 年度）
- ・ 「県費留学生受入事業」：約 11 か月間、福島県内の大学等に留学し福島県の復興状況を経験し帰国。（2014 年度～2019 年度）
- ・ 毎年サンパウロで開催される日本祭りや喜多方ラーメン祭りで福島県の魅力を発信。

- ・2011年4月と5月：福島県に震災義捐金：合計 5,881,472 円を送金。
- ・2012年3月：在伯の福島県人会、岩手県人会、宮城県人会共催による「東日本大震災追悼式典」を宮城県人会会館で開催。
- ・2012年10月：ブラジル都道府県人会連合会による被災地慰問。当会より5名参加。
- ・2013年7月：ブラジル都道府県人会連合会が被災三県より支援者等を招聘し、各地で講演会を開催。
- ・2014年3月：在伯の福島県人会、岩手県人会、宮城県人会共催による「東日本大震災3周年追悼式」を開催。
- ・2016年3月：在伯の福島県人会、岩手県人会、宮城県人会共催による「東日本大震災5周年追悼復興祈願祭」を開催。
- ・2017年10月：県との共催により「福島復興セミナー」の実施。（知事北米・南米訪問）
- ・2019年：サンパウロ市 Japan House にて福島物産展。（弥右衛門酒、喜多方ラーメン等の展示、試飲、試食）。
- ・2020年2月：「中南米日系社会と国内自治体との連携促進事業」で、中南米研修の研修生がブラジルの日系団体代表者らに向けて、福島の復興状況の視察結果を報告。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・Participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd and 3rd)
- ・Youth members participated in the “Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths”, learned about progress in the revitalization of Fukushima and provided information on Fukushima at Kenjinkai meetings and to people around them (FY2013-2019).
- ・Fukushima Prefectural Government Scholarship Program: For about 11 months, youth members studied at universities in Fukushima to experience the revitalization of the prefecture. (FY2014-2019).
- ・Highlighted Fukushima at the annual Japan Festival and Kitakata Ramen Festival held in Sao Paulo.
- ・April and May 2011: Donated ¥5,881,472 to Fukushima Prefecture
- ・March 2012: The Fukushima Kenjinkai, Iwate Kenjinkai, and Miyagi Kenjinkai in Brazil jointly held the Memorial Ceremony for the Great East Japan Earthquake at the Miyagi Kenjinkai Hall.
- ・October 2012: Five members of the Federation of Provinces of Japan in Brazil, visited disaster sites in Fukushima.
- ・July 2013: The Japanese Prefectural Association of Brazil invited people from three prefectures damaged by the disaster and asked them to give presentations about Fukushima in different locations.
- ・March 2014: The Fukushima Kenjinkai, Iwate Kenjinkai, and Miyagi Kenjinkai in Brazil jointly held the 3rd Memorial Ceremony for the Great East Japan Earthquake.
- ・March 2016: The Fukushima Kenjinkai, Iwate Kenjinkai, and Miyagi Kenjinkai in Brazil jointly held the 5th Memorial Ceremony for the Great East Japan Earthquake.
- ・October 2017: Held the Fukushima Revitalization Seminar jointly with Fukushima Prefecture. (The Governor of Fukushima visited North and South America.)
- ・2019: Exhibition of products from Fukushima was held at the Japan House in Sao Paulo. (Exhibition and tasting of Yaemon Sake and Kitakata Ramen)
- ・February 2020: Participants of the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths reported their visits to Fukushima and progress in the revitalization of Fukushima to the representatives of Japanese organizations in Brazil through the Promotion Project for Collaboration between the Japanese society in the Central and South America and local governments in Japan.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

もうあの悪夢の震災から10年の歳月が流れます。わが同胞福島県民が復旧、復興の道のりにおいて厳しい現実を突きつけられている姿に心が痛みます。かの自然豊かなふるさとに戻るのは何時の日か、ただむなしさが募るばかりです。原発事故により未だ避難を余儀なくされている方々、復興に携わる方々、我々はあなたたちにいつも寄り添っています。希望を捨てず、未来を信じて進んでいきましょう。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Ten years have passed since the Great East Japan Earthquake. We feel sorrow thinking of the obstacles that the people of our hometown, Fukushima continue to face as they strive for restoration and revitalization. We are looking forward to the time when Fukushima has completely recovered and is surrounded once again by beautiful nature.

We will continue staying close with people of Fukushima who are still unable to return their homes due to the nuclear power station accident as well as those engaged in revitalization in our hearts. We wish to take a step forward together each day hoping for a bright future.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1957 年
- ・ 代表者：会長 渡部 伊市
- ・ 活動中心地：ブラジル連邦共和国ベレン市
- ・ 会員数：226 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: 1957
- ・ President: Iichi Watanabe
- ・ Place of Activity: Belém, Brazil
- ・ Members: 226 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

北伯福島県人会は 1957 年の設立以降、今年で 64 周年を迎え、現在、日本からの移住者である日系一世の他、二世や三世などの若い世代も加わり、226 名の会員で活動している。

年間行事としては、毎年開催している新年会や都道府県対抗カラオケ大会などにおいて会員間の親睦と融和を図っている他、日本文化紹介イベント「ベレン日本週間」においても福島県の魅力や復興情報のアピールをしている。

世代交代が進み、先祖の郷里である福島県についてあまりよく知らないという若者も増えていることから、県の「中南米移住者子弟受入研修」にも積極的に研修生を送り込み、今後の県人会を担う若年層の人材育成にも力を入れている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Hokuhaku Fukushima Kenjinkai (Fukushima Kenjinkai in Northern Brazil) was found in 1957 and celebrated its 64th anniversary in 2021. The number of members currently stands at 226, a number that includes the 1st, 2nd, and 3rd generations of emigrants from Japan. In addition to the New Year's gathering and Karaoke competitions held each year, we encourage interactions and friendship among members, highlight Fukushima and report progress in the revitalization of Fukushima during Japan Week in Belém, an event designed to introduce Japanese culture.

The number of young Fukushima Kenjinkai members has increased, and many of these youth are unfamiliar with many aspects of Fukushima. To spark greater interest in Fukushima among our younger members, we actively send students to Fukushima through the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths with the goal of ensuring the continuation of Kenjinkai activities in the future.



■復興支援事業

- ・「中南米移住者子弟研修」に県人会若手会員が参加し、福島復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行っている。(2014、2016、2017、2018 年度)
- ・2011 年：県人会会員が募金活動を行い、汎アマゾン日伯協会を通じて（財）海外日系人協会宛に募金を送金。
- ・2012 年：約 8000 人の市民が参加した当地最大の日本文化紹介イベントである「ベレン日本週間」において、福島県庁から送付された広報グッズや民芸品を活用し福島県の魅力をアピール。
- ・2012 年：ベレン市内文化施設にて開催した日本カレンダー展会場に福島県の民芸品を展示し、福島県の伝統文化を紹介。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・Youth members participated in the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths, learned about progress in the revitalization of Fukushima and shared information on Fukushima at Kenjinkai meetings and to people around them (FY2014, 2016, 2017, 2018)
- ・2011: Fukushima Kenjinkai members engaged in fundraising and donated money to the Association of Nikkei & Japanese Abroad via the Pan-Amazon Japan Brazil Association.
- ・2012: During Japan Week in Belém, the Fukushima Kenjinkai promoted Fukushima to approximately 8,000 visitors using PR goods and crafts sent by the Fukushima Prefectural Office. The largest event in the region, Japan Week in Belém introduces Japanese culture.
- ・2012: The Fukushima Kenjinkai exhibited crafts from and introduced traditional culture in Fukushima at the Japan Calendar Exhibition held at a cultural facility in Belém.

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

震災後 10 年を迎えられるにあたり、改めて犠牲者の方々のご冥福をお祈り申し上げます。今日まで復興に携わってこられた県民の皆様には、心より敬意を表したいと思います。

郷里が着実に復興に向かっている様子を拝見し、改めて福島県民の粘り強さと故郷にかける強い思いを実感しております。当地日系社会でも世代交代が進み、日系二世や三世の時代になりつつありますが、この震災の記憶と福島県民の復興にかける思いや情熱を若い世代にもしっかりと受け継いでまいります。

福島県民の方お一人お一人が、復興を成し遂げたと実感する日が 1 日でも早く訪れることを願ってやみません。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

On this the 10th anniversary of the Great East Japan Earthquake and tsunami, we offer our prayers to the souls of those who lost their lives and wish to recognize the great efforts that the people of Fukushima have made to rebuild the prefecture and their lives.

Seeing the progress that you have made, we feel an immense pride in the strength and fortitude of the people in Fukushima. We are committed to ensuring that the memory of the disaster, the suffering of its victims, and the spirit of the survivors is passed down to the younger generation in Brazil, and we pray each and every day that Fukushima will achieve a full recovery in the near future.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1939 年 1 月 22 日
- ・ 代表者：会長 七海 アルベルト
- ・ 活動中心地：アルゼンチン共和国
ブエノスアイレス市
- ・ 会員数：550 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: January 22, 1939
- ・ President: Alberto Nanami
- ・ Place of Activity: Buenos Aires, Argentina
- ・ Members: 550 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

在亜福島県人会では、1939 年の設立以降、今年で 82 周年を迎え、現在、日本からの移住者の子孫は 550 名程、主に二世、三世を中心に 80 名の会員で活動している。

年間行事としては、毎年 4 月に開催される「交流会」や「FANA（在亜日経団体連合会）主催秋の日本祭り」で会員間の親睦を図り、福島県の魅力の紹介や福島県の復興情報のアピールをしている。

先祖の故郷である福島県について殆ど知らないという若者も増えている。若い世代に福島県や日本について知ってもらうために、県の「中南米移住者子弟受入研修」に参加して、福島県の歴史や文化、震災後の復興の様子を体験してもらうなど、将来の県人会を担う人材の育成に重要な短期研修受入について多に感謝している。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Zaia Fukushima Kenjinkai was founded in 1939 and will celebrate its 82th anniversary in 2021. Although the descendants of the 1st generation of emigrants from Japan total about 550, the Kenjinkai activities are performed mainly by 80 2nd and 3rd generation emigrants from Japan.

We encourage interactions and friendship among members through a gathering in April every year and the Japan Festival in autumn sponsored by the Federation of Japanese Associations in Argentina (FANA) as we promote and report progress in the revitalization of Fukushima.

The number of young Fukushima Kenjinkai members has increased, and many of these youths are unfamiliar with many aspects of Fukushima. To encourage these new members to learn more about Fukushima and Japan, the Fukushima Kenjinkai promotes the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths to provide youth members with opportunities to learn firsthand about the history and culture of Fukushima, and to experience progress in the revitalization of Fukushima after the Great East Japan Earthquake with the aim of continuing Kenjinkai activities in the future.



■復興支援事業

- ・在外福島県人会サミット参加（第1回、第2回、第3回）
- ・「中南米移住者子弟研修」に県人会の若手会員が参加し、福島県の復興の進捗状況を学び、県人会や周囲に情報発信を行った。（2013年～2019年）
- ・2011年、2012年：在亜日本人会主催日会祭り、ブエノスアイレス市日本庭園主催東日本大震災被災者救助募金活動に参加し、スタンドを設け県庁ホームページのデータを基に福島県の状況を来客に説明したFANA主催秋の祭り、日亜学院主催日本マニア際にてパンフレットを配り復興状況・県の魅力について説明。現地日経新聞らぶらた報知に研修生のレポートを記事として掲載。本県人会 Facebook に研修レポートを発表。
- ・2015年：福島県ミッションが来亜、「福島県の今を伝えるセミナー」開催。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Participation in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st, 2nd, and 3rd)
- ・ Youth members participated in the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths, learned about progress in the revitalization of Fukushima and provided information on Fukushima at Kenjinkai meetings and to people around them (FY2013-2019).
- ・ 2011 & 2012: The Fukushima Kenjinkai ran a booth at a festival hosted by the Japanese Association in Argentina and participated in a relief fund activity for the victims of the Great East Japan Earthquake organized by the Japanese Garden in Buenos Aires, and reported progress in the revitalization of Fukushima using data from Fukushima Prefectural Office website. The Kenjinkai also participated in the autumn festival hosted by FANA and the Japan Mania Festival hosted by the Nichia Gakuin. The Kenjinkai handed out pamphlets, highlighted Fukushima and reported progress in the revitalization. La Plata Hocht, a Nikkei Newspaper, published an article about reports by students who studied in Fukushima. The report was posted on the Kenjinkai Facebook page.
- ・ 2015: Staff from Fukushima Prefectural Government visited Argentina and provided a seminar to report progress in Fukushima.

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

2011年の東日本大震災は福島県を含む東北の3県に想像も出来ない大きな被害をもたらしましたが、この10年、上福島県民は多数の災害を超えて新しい姿に変わりながら復興を果たして来たことと感じています。この難を超えて再び幸せで活気的な福島県が甦ると世界中の人々は確信しております。是非とも県民皆様の誠意と努力が実りますよう在亜福島県人会一同、福島県の復興を願い祈っております。そのために他の在外福島県人会と一緒に全力を挙げて応援し続けたいです。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

The Great East Japan Earthquake caused significant damage to three prefectures in the Tohoku Region, including Fukushima. In the past 10 years, Fukushima has suffered several disasters, but continues to do its best to rebuild. The entire world is confident that the people of Fukushima will overcome the many tragedies it has faced and succeed in finding happiness as they rebuild their lives. The Zaia Fukushima Kenjinkai prays for their continuing success and pledges its support for the revitalization of Fukushima.

Together with the other Fukushima Kenjinkais, we would like to do our best to continue supporting the prefecture.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1989 年 7 月
- ・ 代表者：会長 玉手 ルリ子
- ・ 活動中心地：ドミニカ共和国
 サントドミンゴ市
- ・ 会員数：60 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: July, 1989
- ・ President: Ruriko Tamate
- ・ Place of activity: Santo Domingo,
 Dominican Republic
- ・ Members: 60 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ドミニカ共和国福島県人会は 1989 年に創立され、今年で 32 周年を迎える。現在、会員数は 60 名、初代会員やその子孫、親戚と共に活動を行っている。

ドミニカ福島県人会の主な活動は次のとおりです。

「1. 会員総会（4 月）」、「2. 年次総会・忘年会（11 月）」

大家族のような居心地のいい温かい雰囲気の中で交流し、日常の出来事や様々な体験を語り合い、県民としての絆を深まる機会にしている。また、中南米移住者子弟研修で訪日し、研修を受けた会員のにも福島県で学んだことや体験したことを共有してもらっている。

この活動には、在ドミニカ共和国日本大使をはじめ、福島県出身の JICA 専門家やシニアボランティア・青年協力隊員の方々を招待しており、更に福島県について学ぶ機会としている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Dominica Fukushima Kenjinkai was established in 1989 and will celebrate 32th anniversary in 2021. Nowadays, the number of total members is 60. We carry out activities with the 1st generation members, their descendants and relatives.

Our main activities are: 1) The Members General Assembly in April, 2) The End-of-the-year Gathering (Bonenkai) in November, where we intermingle with each other in a large family atmosphere and take this opportunities to talk about daily events and various experiences to deepen our bonds. Also, we invite people who took part in the Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths to share what they learned or experienced in Fukushima Prefecture. The Ambassador of Japan to the Dominican Republic was also invited to this gathering, as well as JICA's experts and members of senior volunteers and the Japan Overseas Cooperation Volunteers. Though this opportunity, we have been learning more about Fukushima.



■復興支援事業

- ・2015年12月：在ドミニカ共和国日本大使館が開催した天皇誕生祝賀会レセプションで、ドミニカ福島県人会が福島県の魅力を紹介し、東日本大震災と原発事故がもたらした影響のその後の現状を紹介した。当時のドミニカ外務大臣、アンドレス・ナバロ氏は福島県の状況に共感し、これまでの進展に関心を持たれた。
- ・2014年：第2回在外福島県人会サミットに八巻幸子会員（後に県人会長）が参加。県人会サミットで学んだ内容について、その年の県人会の忘年会で八巻氏が紹介した。
その後、環境問題を取り上げた会合でサンティアゴ商工会議所、高齢者大学および他の財団の代表者に福島県の情報を伝える機会を得た。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・December 2015: At the National Holiday of the Embassy of Japan in the Dominican Republic, Dominica Fukushima Kenjinkai promoted the charms of Fukushima as well as the current situation after the earthquake and the damage resulting from the nuclear power station accident.
Mr. Andrés Navarro (the Dominican Chancellor at the time) expressed his support for Fukushima and showed great interest in the progress made so far.
- ・2014: Ms.Sachiko Yamaki participated in the “2nd Overseas Fukushima Kenjinkai Summit” in Fukushima. She shared what she learned at the Fukushima Kenjinkai’s Bonenkai of that year and at environmental talks with members representing the Chamber of Commerce of Santiago, university for seniors and various foundations.

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

福島復興は、「団結は力なり」ということわざを体現した偉大な成果です。日本政府とこの復興の取組に参画する全ての人を見てみると、福島県民とその子供達を心から誇りに思います。

福島と日本の精神はドミニカ共和国、そして世界中から賞賛されました。

日本人の特徴とされる他者への敬意、誠実さ、協調性が再び試され、これらにより、今日に至るまで福島は急速に復興を進めてきました。

これからも、ドミニカの地における福島県人会会員一同、皆様の忍耐強い不屈の精神を受け継ぎ、福島県民の代表としてしっかり成長していけるよう邁進して参ります。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

The revitalization of Fukushima was a great achievement that lived up to the phrase “unity is strength”. Seeing government authorities and all the people dive into this revitalization makes us Fukushima natives and descendants very proud.

The spirit of Fukushima and Japan was praised in Dominican Republic and all over the world. The respect for others, honesty and collaboration that characterizes Japan so much were put to the test once again, leading to Fukushima’s swift recovery as shown to this day. We, Dominica Fukushima Kenjinkai, will inherit that persevering and invincible spirit, and strive to become worthy representatives of Fukushima in the Dominican Republic.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1999 年 2 月 7 日
- ・ 代表者：会長 長谷川 幸雄
- ・ 活動中心地：ボリビア多民族国ラパス市
- ・ 会員数：16 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: February 7, 1999
- ・ President: Yukio Hasegawa
- ・ Place of Activity: La Paz, Bolivia
- ・ Members: 16 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ボリビア福島県人会は、1999 年設の立以降、今年で 22 周年を迎え、現在、日本からの移住者とその家族 16 名の会員で活動している。会員数が少なく、独自の活動は非常に困難ゆえ、ラパス日本人会主催の「日本祭り」や「展示会」で福島県の魅力を紹介し、復興のアピールをしている。

2020 年は新型コロナウイルスの世界的大流行で諸々の活動が中止となっている。2019 年の展示会には出展し、約 300 人の参加者へ「赤べこキーホルダー」と「起き上がり小法師」を配布し、とても喜んでいただいた。展示会は夜の開催であり、夜は冷え込むためか高齢者の参加はわずかで、参加者の多くは高校生と大学生だった。全体では数千人にも達し大成功だった。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Bolivia Fukushima Kenjinkai was founded in 1999 and will celebrate its 22nd anniversary in 2021. It currently has 16 members, all of which are emigrants from Japan and their families. Because the Kenjinkai's small membership makes it difficult to organize its own activities, it participates in the Japan Festival and other exhibitions hosted by the Japanese Association of La Paz to highlight and report progress in the revitalization of Fukushima.

While this year's activities were unfortunately cancelled due to COVID-19, the Kenjinkai participated in an exhibition in 2019. The exhibition attracted several thousand visitors and was a great success. We handed out Akabeko (red cow) key holders and Okiagari Koboshi (self-righting doll) and the 300 visitors that received the items were very happy. Because the exhibition took place in the evening, the majority of visitors were high school and university students. There were few elderly people because it was cold in the evening.



■復興支援事業

- ・ 2013 年：在外福島県人会サミット参加（第 1 回）
- ・ 2013 年：首都ラパスのホテルにて第 1 回在外県人会サミットの報告会を開催。
- ・ 2015 年 4 月：第 2 回サミットで紹介した映画「物置のピアノ」をラパス日本人会大ホールで上映。
- ・ 2018 年 9 月：ラパス市南地区日本庭園にて、ラパス日本人会主催ボリビア大使館共催の恒例のお祭りで日本食の出展を行った。
- ・ ラパス日本人会主催の日本文化展に参加し、福島県の PR を行った。（2015 年、2018 年、2019 年）。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ 2013: Participation in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st)
- ・ 2013: The Kenjinkai held a briefing session on the 1st Overseas Fukushima Kenjinkai Summit at a hotel in La Paz.
- ・ April 2015: "A Piano in Storage," which was shown at the 2nd Overseas Fukushima Kenjinkai Summit, was screened at the grand hall of the Japanese Association of La Paz.
- ・ September 2018: The Kenjinkai ran a Japanese food booth at the Japan Festival at the Japanese Garden in the Southern District of La Paz jointly hosted by the Japanese Association of La Paz and the Embassy of Japan in Bolivia.
- ・ The Kenjinkai participated in the Japanese Culture Exhibition hosted by the Japanese Association of La Paz to highlight Fukushima (2015, 2018, 2019).

■震災後 10 年を迎えるに当たっての福島県へのメッセージ

東日本大震災のニュースを目にしたのは、2011.3.11 ボリビア時間午前 4 時 30 分の NHK ワールドでした。あの時の衝撃的画像は忘れたくとも今もって脳裏に深く刻まれています。福島県は東北の被災 3 県の中でも被害甚大でした。

あのような被害を被ったにも関わらず、官民一体となって復興に向けた努力へ傾注し、そして、厄介な目に見えない放射能の風評払拭への努力をしてられました。

これらの諸問題を抱えながらも今日の発展を実現したことに大いなる感銘を受けました。

震災で亡くなられた多くの方々の御冥福をお祈り申し上げます。

今後も更なる復興、発展への御努力を期待しております。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

We learned of the Great East Japan Earthquake on a broadcast of NHK World at 4:30 am on March 11, 2011. While the images of the horrible disaster were scenes that we wanted to forget, we were unable to get them out of our minds. Of the three prefectures in the Tohoku Region affected by the earthquake, Fukushima's tragedy was compounded by the radiation released from the nuclear power station accident and the devastation of its agricultural and marine industries.

Despite facing such overwhelming adversity, everyone affected by the disaster, public officials and private citizens alike, has impressed us greatly by working so hard to rebuild their lives. And people in Fukushima made efforts to dispel troublesome harmful rumors caused by invisible radioactivity.

We offer our prayers to the souls of those who lost their lives and our support to the survivors as they continue to face the affects of the disaster with courage and fortitude.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2014 年 5 月 31 日
- ・ 代表者：会長 佐藤 栄二
- ・ 活動中心地：メキシコ合衆国
メキシコシティ市
- ・ 会員数：41 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: May 31, 2014
- ・ President: Eiji Sato
- ・ Place of Activity: Mexico city, United Mexican States
- ・ Members: 41 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

メキシコにおいて各種日墨友好記念イベントが開催された 2014 年を契機に、従来、有志で開催していた福島県人の集まりを当時の目賀田日本大使の協力を得て、福島県に所縁あるメンバーのメキシコでの親睦、その他当地における福島のアピール等を目的としてメキシコ福島県人会は設立された。

年間 2 回の定期会合（新年会、忘年会）の他、日墨協会主催の秋祭りに毎年出展し、メキシコ人向けに、浪江焼きそば、福島県産のお酒、桃、お菓子等を販売するとともに、当地観光パンフレット等を配布。日本大使公邸で実施される天皇誕生日祝賀イベントにも参加し、赤べこグッズなどを配布。

その他、メンバー有志の活動として、チャリティイベント収益の出身自治体への寄附、野口英世のメキシコでの活動に関するイベント、福島県の児童を当地の学校に招待するイベントなどを不定期に実施し、メキシコ人と日本人の交流促進を図っている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

After holding events celebrating Mexico-Japan friendship in 2014 in Mexico, the Mexico Fukushima Kenjinkai was established with support from Japanese Ambassador Mekata to promote interactions among members with connections to Fukushima and to highlight Fukushima in Mexico.

We hold meetings twice a year (New Year's and Year-End gatherings), run a booth at the Autumn Festival hosted by the Japanese Association of Mexico to sell Namie fried noodles, sake, peaches, and snacks from Fukushima, and provide pamphlets about sightseeing in Fukushima. We also participate in an event celebrating the Emperor's birthday at the residence of the Japanese ambassador to Mexico and provide Akabeko (red cow from Fukushima) goods, etc.

The Kenjinkai also donates the profits of a charity event to local governments in Fukushima where the members are from, engage in events to highlight Hideyo Noguchi, and invite students from Fukushima to schools in Mexico to promote interactions among people in Mexico and Japan.

■復興支援事業

- ・日墨協会主催の秋祭りに福島県 PR ブースを出展した。(2015 年、2016 年、2017 年、2018 年)
- ・在メキシコ日本国大使館での天皇誕生日レセプションにて福島県情報を発信。(2015 年、2016 年、2017 年、2018 年)
- ・2017 年 11 月：在外福島県人会サミット参加（第 3 回）
- ・2018～19 年：野口英世博士渡墨 100 年記念イベント等への出展により福島県の情報を発信。
(2018 年 9 月メキシコシティ市、2019 年 8 月メリダ市、10 月猪苗代町)
- ・2019 年 7 月 YELL FROM FUKUSHIMA CITY イベントへのメッセージ参加。
- ・2019～20 年：野口英世博士関連書籍、漫画の各地の日本人学校等への寄附と訪問。
(2019 年 11 月メキシコシティ市、2020 年 2 月イラプアト、アグアスカリテンテス市他)

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・The Kenjinkai ran a booth to highlight Fukushima at the Autumn Festival hosted by the Japanese Association of Mexico. (2015, 2016, 2017, 2018)
- ・The Kenjinkai shared information about Fukushima at the reception for the Emperor's birthday at the Embassy of Japan in Mexico. (2015, 2016, 2017, 2018)
- ・November 2017: The Kenjinkai participated in the 3rd Overseas Fukushima Kenjinkai Summit.
- ・2018-2019: The Kenjinkai ran a booth to share information about Fukushima at the 100th anniversary of Hideyo Noguchi's arrival in Mexico and other events. (September 2018 in Mexico City, August 2019 in Merida, October 2019 in Inawashiro Town)
- ・July 2019: The Kenjinkai participated in the YELL FROM FUKUSHIMA CITY event by sending a message.
- ・2019-2020: The Kenjinkai paid visits to Japanese schools in Mexico, to which they donated books and cartoons about Hideyo Noguchi. (November 2019 in Mexico City, February 2020 in Irapuato, Aguascalientes, etc.)

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災から 10 年間、とても長い日々だったことと存じます。特に原発関連の被害については、今後、何世代にも渡り、問題を解決すべく、東京電力、国、県庁、福島県民が協力して対処することになると思われます。幸いにも、福島県は風光明媚で、海の幸、山の幸にも恵まれ観光立県としての地位を築きつつあります。また IT 分野でも先端を行く大学もあり、今後、福島県人らしい粘り強さと新しい知性を持った若者が育つ土壌はできつつあります。

将来、福島県が日本の中でも文化、教育、観光の面で際立った県となるよう、海外から引き続き応援活動をしていきたいと存じます。

頑張ろう福島！

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Progress toward recovery from the Great East Japan Earthquake that struck on March 11, 2011 must seem slow to the people of Fukushima. The damage caused by the nuclear power station accident will require close cooperation by TEPCO, the Japanese Government, the Prefectural Government, and the citizens of Fukushima over generations to completely resolve. Fortunately, Fukushima is blessed with affluent nature and beautiful landscapes, and has been successfully establishing itself as a sightseeing destination. There is also a university that has led research and development in IT, which shows that it has successfully developed as a base to cultivate strength and intelligence in the youth.

We are confident that the people of Fukushima will succeed in their revitalization efforts by highlighting distinctive aspects of culture, education, and tourism. We are always with you and will always support you!

キューバ青年の島日系人と福島の友好会 / Isla de la Juventud Cuba Nikkeijin and Fukushima Friendship Group

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2018 年 2 月 18 日
- ・ 代表者：会長 Ulises Rodriguez Hanzawa
- ・ 活動中心地：キューバ共和国青年の島
ヌエバ・ヘロナ市
- ・ 会員数：52 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: February 18, 2018
- ・ President: Ulises Rodriguez Hanzawa
- ・ Place of activity: Nueva Gerona
Isle of Youth, Cuba
- ・ Members: 52 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

- ・ キューバ、青年の島（フベントウド島）に福島県から移民した 2 家族の子孫が集まり、福島県人会の設立に至る。
- ・ 2018 年 2 月 18 日 キューバ青年の島日系人と福島の友好会を設立。
- ・ 毎年、お盆に会員が集まり、親睦を深めている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Fukushima Kenjinkai was founded by the descendants of two families, who emigrated from Fukushima Prefecture to Juventud in Cuba.

Isla de la Juventud Cuba Nikkeijin and Fukushima Friendship Group was founded on February 18, 2018.
Every year members gather together during Obon to deepen their friendship.

■復興支援事業

- ・キューバ青年の島日系人と福島県友好会は 2018 年に登録された新しい県人会

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ “Isla de la Juventud Cuba Nikkeijin and Fukushima Friendship” is a new Fukushima “Kenjinkai”(Fukushima Friendship Group) registered in 2018.

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

自然は私たちの星の最も大きな力であり、時に私たちに牙をむきます。あの時、福島はその影響を受けましたが、私たちは何があっても前へ進むことができるということを時間が証明しています。

このことから、私たちは福島県の方々に申し上げます。強くあれ。あなた方の住む場所の再建のために働き続け、そしてもっと美しい地域にしてください。

なぜなら福島はあなた方のふるさとであり、誰もあなたからそれを奪い取ることはできないのだから。あなた方がふるさとに広めた愛は何よりも強いからです。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Nature is the biggest force in our planet and sometimes it shows its fangs and attacks us.

At that time, Fukushima was impacted by it, but time has proved that we can advance no matter what happens.

For that reason we would like to say to Fukushima people, stay strong, keep working for rebuild your city, make it even more beautiful, because Fukushima is your home and no one can take it from you.

Because the love that you spread in your land is stronger than anything.

ロンドンしゃくなげ会（在英國福島県人会） / Fukushima Prefectural Association in London

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1993 年 2 月
- ・ 代表者：会長 満山 喜郎
- ・ 活動中心地：英国ロンドン市
- ・ 会員数：50 人
- ・ Website: <https://www.londonshakunagekai.uk>

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: February 1993
- ・ President: Yoshio Mitsuyama
- ・ Place of Activity: London, UK
- ・ Members: 50 people
- ・ Website: <https://www.londonshakunagekai.uk>



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ロンドンしゃくなげ会は、1993 年 2 月に発足し、会員及び会員相互の親睦と発展に寄与することを目的に設立し、会員は福島県出身者、親や親戚等で福島とつながりのある方、福島県内で勉強や仕事で滞在した方、震災後は福島県支援者や福島大好きの方々も会員になっている。震災前は会員の親睦会が中心で、震災後は風評払拭のための活動が中心だが、毎年、新年会や懇親会を開催して会員との親睦を深めている。

他の国の県人会とも連携を取りながら、福島県の復興と県産品の魅力を発信し、福島県の風評払拭を支援している。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Fukushima Prefectural Association in London was founded in February 1993 to facilitate interactions among members. Members of the Kenjinkai consist of emigrants from Fukushima, their parents and relatives, and individuals who have studied or worked in Fukushima. After the Great East Japan Earthquake, individuals who want to support Fukushima and individuals who simply love Fukushima joined as members. We hold a New Year's gathering and other meetings each year to interact.

The Kenjinkai cooperates with other Kenjinkais around the world and continues to highlight progress in the revitalization of Fukushima and local specialties to dispel harmful rumors of Fukushima.

■ 復興支援事業

- ・ 知事の欧州訪問時の情報発信等に協力（2015, 2018, 2019）
- ・ 欧州 4 県人会（英、独、仏、蘭）が欧州福島県人会サミットを開催（2017 年, 第 1 回: オランダ、2018 年, 第 2 回: ドイツ）。
- ・ 2011 年 4 月、7 月：東日本大震災の義援金を募り福島県災害対策本部へ寄附。
収益金はこども寄附金や義援金として県に寄附（2011 ～ 2020 年）
- ・ 2011 年 9 月：第三回ジャパン祭に初出展し福島県の復興・元気をアピール。（以後毎年出展）
2013 年には「天のつぶ」を海外で最初には販売し、欧州での販売の糸口になった。
- ・ 2012 年 7 月：ホーランドパーク内への福島庭園創設に協力し開園記念式典に参加。英国から世界に向けての震災支援に感謝を込め、福島県花ネモトシャクナゲが植樹された。
- ・ 2013 年 3 月：福島庭園 記念碑建立除幕式に参加。
- ・ 2014 年 7 月：英国会議事堂内で「起き上がり小法師展」を開催。
日本文化発信の総合イベント「ハイパージャパン 2014」にブース出展し県の PR を行った。
- ・ 2016 年 3 月：福島里の子会が日本大使館や学校、オックスフォード大学で復興支援に感謝を伝えた。
大使館の東日本大震災五周年追悼・復興支援行事に協力。
- ・ 2017 年 7 月：福島庭園 5 周年記念式典と英国庭園姉妹協定締結式に協力。
- ・ 2017 年 10 月：英国国会議事堂で復興イベント「福島酒のフェア」を開催。
- ・ 2017 年 11 月：本宮市に英国庭園開園し日英友好の懸け橋に協力。
- ・ 2018 年 11 月：在ベルギー日本国大使館「天皇誕生日レセプション」にて欧州 4 カ国（英、独、仏、蘭）の県人会が福島県の県産酒と食の安全等を PR。

- ・2019年4月：NHK 福島主催の「福島の桜」写真展で県の民芸品、パンフレットの配布や県産酒の提供を行い、福島魅力を発信。
- ・2019年6月：国際穀物理事会創設70周年記念レセプションで福島のお酒と食を提供。
- ・2019年6月：ブリュッセルの欧州連合日本政府代表部大使公邸での「ガーデンパーティ」にて欧州4カ国（英、独、仏、蘭）の県人会が福島県の県産酒と食の安全等をPR。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ The Kenjinkai cooperated with Fukushima Prefecture to promote Fukushima at the time of Governor Uchibori's visit to Europe (2015, 2018, 2019).
- ・ Four Kenjinkais in Europe (U.K., Germany, France and the Netherlands) held the European Fukushima Kenjinkai Summit (1st was held in the Netherlands in 2016 and 2nd was held in Germany in 2017).
- ・ April and July 2011: The Kenjinkai donated funds for the victims of the Great East Japan Earthquake to Fukushima Prefectural Government Emergency Response Headquarters.
- ・ September 2011: The Kenjinkai ran a booth to highlight progress in the revitalization of Fukushima at the 3rd Japan Festival (continued each year since then). Especially in 2013, we sold Ten-no-Tsubu, rice produced in Fukushima and as a result, sales of Ten-no-Tsubu began to sell in Europe.
We donated the profits to Fukushima to support children and the victims of the Great East Japan Earthquake.
- ・ July 2012: The Kenjinkai supported the construction of the Fukushima Garden and participated in the Opening Ceremony of it in Holland Park. We expressed gratitude for the disaster received from U.K. and the world.
The Prefectural Flower, Rhododendron trees were planted.
- ・ March 2013: The Kenjinkai participated in the Fukushima Garden Unveiling Ceremony for the Memorial Monument.
- ・ July 2014: The Kenjinkai held an Okiagari Koboshi Exhibition at the House of Parliament. The Kenjinkai also ran a booth at Hyper Japan 2014, a Japanese culture event, to promote Fukushima.
- ・ March 2016: The Fukushima Satonokono-kai expressed appreciation to those who supported the revitalization of Fukushima at the Embassy of Japan in London, schools, and the University of Oxford. The Kenjinkai provided support for the 5th Memorial Ceremony for the Great East Japan Earthquake and other events for the revitalization of Fukushima hosted by the Embassy of Japan in London.
- ・ July 2017: The Kenjinkai participated in the 5th Anniversary Ceremony of Fukushima Garden and a ceremony for the conclusion of the sister garden city agreement between England and Japan.
- ・ October 2017: The Kenjinkai held the Fukushima Liquor Fair, a revitalization event for Fukushima, at the House of Parliament.
- ・ November 2017: The Kenjinkai helped open an English Garden in Motomiya City to promote friendly relations between England and Japan.
- ・ November 2018: Four Kenjinkais in Europe promoted the safety of local sake and food from Fukushima at a reception for the emperor's birthday hosted by the Embassy of Japan in Belgium.
- ・ April 2019: The Kenjinkai distributed local art crafts, sake, and pamphlets at the photo exhibition, "Cherry Trees in Fukushima," hosted by NHK Fukushima to promote Fukushima.
- ・ June 2019: The Kenjinkai provided sake and food from Fukushima at the 70th anniversary reception of the International Grains Council.
- ・ June 2019: Four Kenjinkais in Europe promoted the safety of local sake and food from Fukushima at the garden party held at the residence of the Ambassador of the Mission of Japan to the European Union in Brussels.

■ 震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

東日本大震災から10年が経ちますが、未だに帰郷できない方々がいらっしゃることに心痛めており、これらの地域の早期の復興をお祈りしています。マイナスイメージでのネームバリューを逆手に取り、安全性を示すデータと共に世界に向けて福島魅力を発信して頂きたいです。

また、地域によっては居住者の人数や構成が変わったところもあるでしょうが、一度壊れてしまったものの再構築を超えて、全国、否、全世界から入居者が来るような新しい自由なコミュニティ作りができるのではないかと期待しております。今まで以上に福島の子供達が様々な創造的なプロジェクトを通して、継続して、世界とつながる機会を得られれば、広い視野、多様な価値観を学ぶことにつながり、福島未来は、自ずと明るく花咲くだろうと信じています。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

It has been 10 years since the Great East Japan Earthquake. We would like to express our sorrow for those who have yet to return back to their hometowns. We pray for an early recovery of the region from the tragedy. Turning the negative image of Fukushima's name into positive one, we would like to share the charms of Fukushima together with data that shows to the world that Prefecture is safe.

In many areas, the number and composition of its residents have change. However, we hope that these areas, which suffered damage, will not only be rebuilt but go beyond that and create new and free communities where people from around the country and the world can live. We believe that with the continual support for children in Fukushima to connect with the outside world through a wide variety of innovative projects, this will lead to the cultivation of a broad vision, diverse values and a bright future for the children of Fukushima.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2013 年 9 月 12 日
- ・ 代表者：会長 石川 武司
- ・ 活動中心地：オランダ アムステルダム市
- ・ 会員数：16 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: September 12, 2013
- ・ President: Takeshi Ishikawa
- ・ Place of Activity: Amsterdam, Netherlands
- ・ Members: 16 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

2013 年 9 月 12 日にオランダふくしま会発足。副会長に菊田豊公使<現ナイジェリア大使>。2014 年 6 月にはアムステルフェーン市で開催された Japan festival で 福島 の復興と発展をアピール。その後毎年開催されているライデン市の Japan Markt にて福島 の風評払拭に協力。県庁始め福島県各地からのご協力を頂きながら、福島 の魅力の発信、と復興と風評払拭の支援に取り組んでいる。

■ Introduction of the Kenjinkai and Its Main Activities

On September 12, 2013, the Netherland Fukushima-kai, with Ambassador Yutaka Kikuta serving as the Vice-Chairman (currently the Ambassador to Nigeria) was established. The Kenjinkai promoted progress in the revitalization of Fukushima at the Japan Festival in Amstelveen in June 2014. We also participated in the Japan Market in Leiden, which is held every year, to dispel harmful rumors of Fukushima. We continue to promote Fukushima in cooperation with the Fukushima Prefectural Government and other organizations in Fukushima.

■ 復興支援事業

ライデン市の Japan Markt に参加し、イベントで得た寄付金を福島県等に寄附。(2015 年から 2019 年)

- ・ 2014 年 6 月：Japan Festival にて福島民報社やその他県の協力を得て復興の姿をアピール。
- ・ 2016 年 10 月：ミラノ食の Exspo にて内堀知事が出席する福島県フェアをお手伝い
- ・ 2017 年 6 月：ライデン市の Japan Markt で自然豊かな福島 の観光地や温泉を紹介。復興もアピール。
- ・ 2017 年 6 月：第 1 回欧州福島県人会サミットをアムステルダムで開催。東京五輪においてで福島でも競技開催が決定したことから、その支援と応援が議題となった。ベルギーの県人会発足も話題に。
- ・ 2017 年 11 月：第 3 回在外福島県人会サミットへ参加し、原発事故の復興現場を初めて視察。
- ・ 2018 年 3 月：「ふくしまフードプライド in パリ」で県に協力。福島産の食材を使った料理を担当。パリ市内の商業施設で県産食品をパリ市民に紹介。
- ・ 2019 年 10 月：ロッテルダムで福島フェア開催。県と協力し福島県 の魅力を紹介。
- ・ 2019 年 10 月：ブリュッセルで県主催の「ふくしまの未来」セミナー、「ふくしまの魅力発信」レセプションに協力。来場者に福島県産の食材を使った料理と日本酒を提供。
- ・ 2020 年 2 月：天皇誕生日祝賀会（大使館主催）に県ブースを設け、福島 の食とお酒を世界各国の大使に紹介。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ The Kenjinkai donated funds collected at the Japan Market in Leiden to Fukushima, etc.(from 2015 to 2019)
- ・ June 2014: The Kenjinkai promoted the revitalization of Fukushima at the Japan Festival in cooperation with Fukushima Minpo and the Fukushima Prefectural Government.

- October 2016: The Kenjinkai helped at the Fukushima Fair at the Expo in Milano, in which Governor Uchibori participated.
- June 2017: The Kenjinkai introduced sightseeing spots of Fukushima's nature and hot springs at the Japan Market in Leiden and promoted the revitalization of Fukushima.
- June 2017: The 1st European Fukushima Kenjinkai Summit was held in Amsterdam. Because part of the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games will happen in Fukushima, we discussed now we can show support. The establishment of the Fukushima Kenjinkai in Belgium was also a topic.
- November 2017: The Kenjinkai participated in the 3rd Overseas Fukushima Kenjinkai Summit, and visited the sites of revitalization for the first time.
- March 2018: The Kenjinkai supported Fukushima Prefecture at the Fukushima Food Pride in Paris. We were in charge of serving meals cooked with ingredients from Fukushima.
We introduced food from Fukushima to the citizens of Paris at a commercial facility in Paris.
- October 2019: The Kenjinkai hosted a Fukushima Fair in Rotterdam. We promoted Fukushima together with Fukushima Prefecture.
- October 2019: The Kenjinkai supported the seminar about the future of Fukushima and the reception to highlight the charms of Fukushima, which was hosted by Fukushima Prefecture in Brussels. The Kenjinkai provided meals made from ingredients from Fukushima and served sake from Fukushima.
- February 2020: The Kenjinkai ran a Fukushima booth at the Celebration for the Emperor's Birthday hosted by the Embassy of Japan and introduced dishes and sake from Fukushima to ambassadors from around the world.

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

2011 年、本震や余震、計画停電、放射能汚染情報など、地震から派生した様々な問題が私たちを襲いました。余震が来るたび携帯電話から響き渡る警報アラームに軋む窓や梁。脳裏にこびり付いた出来事です。しかし、福島は過去を嘆くばかりではありません。しっかり前を見据えて、復興の名の下に粘り強い除染活動を行っています。日本国内や海外における地道な風評被害の払拭活動には驚くばかりです。遠くオランダの地より、引き続き、チームふくしまプライドの一員として盛り上げていきます。

東日本大震災を知ったのは、自宅で目にした衝撃的な津波の映像からでした。4 月に一人で小名浜の実家に一時帰国した時、毎日続いた余震 ... 福島県人会発足を知り、すぐに石川会長に連絡しメンバーになってから、オランダやヨーロッパで開催される復興支援活動の応援を続けてきました。福島県の現状は、日本国内でも風化しつつありますが、オランダからいつもエールを送っています。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

The damage caused by the Great East Japan Earthquake in 2011 was extensive. After the quake hit, there were aftershocks, planned power outages, radioactive contamination, and other nuisances. Every aftershock triggered an alarm on our mobile phones, and our homes shook. These are experiences that we will not soon forget; however, the people of Fukushima do not simply cry for the past. We see our future and continue decontamination for the revitalization of Fukushima. We are moved by the steady restoration of dispelling harmful rumors of Fukushima at home and abroad. Far from Fukushima, those of us living in the Netherlands continue to lend our support to the revitalization of Fukushima as members of the team.

I was in the Netherlands when I learned of the big earthquake that hit Fukushima. The news showed shocking video footage of the tsunami. When I visited my home in Onahama in April, I felt aftershocks every day. After returning to the Netherlands, I learned that there was a Fukushima Kenjinkai in the Netherlands. I contacted Chairman Ishikawa and asked to join. Since joining, I have been attending activities to support the revitalization of Fukushima held in the Netherlands and other countries in Europe. The attention focused on Fukushima has decreased; however, the people of Fukushima are forever in the hearts of the members of the Kenjinkai in the Netherlands, and we continue to pray for you.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2014 年 1 月 28 日
- ・ 代表者：会長 菅野 いつ子
- ・ 活動中心地：フランス パリ
- ・ 会員数：30 人
- ・ Facebook: <https://www.facebook.com/fancefukusima/>



■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: January 28, 2014
- ・ President: Itsuko Sugeno
- ・ Place of Activity: Paris, France
- ・ Members: 30 people
- ・ Facebook: <https://www.facebook.com/fancefukusima/>

■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

2012 年パリ市主催の震災追悼記念式典がきっかけで、フランス在住の福島県出身者、縁者を募り、フランスで開催される福島関連のイベントに自主的に参加したり、2 か月ごとの懇親会を実施したりしてきたことが会の由来である。

会の設立以降、現地駐在者とその家族を中心に活動を行っている。

年間行事としては、毎年 5 月に開催される「希望祭」で福島県の魅力を紹介、福島県の復興情報のアピールをしている。

また、毎年 3 月には東日本大震災復興関連イベントの企画や参加をしている。

他の国の県人会とも連携を取りながら、福島県の復興状況と県産品の魅力を発信し、福島県の風評払拭を支援している。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Since the memorial ceremony for the Great East Japan Earthquake was held in Paris in 2012, people from Fukushima living in France as well as their family and friends have participated in events for Fukushima in Paris. Since the Kenjinkai was established in 2014, gatherings have been held every other month.

Since its foundation, company employees assigned to France and their families play central roles in Kenjinkai activities. Annually, we highlight Fukushima and provide information about the revitalization of Fukushima at the Hope Festival in May each year.

In March of every year, we host an event focusing on helping Fukushima recover from the Great East Japan Earthquake.

In cooperation with other Kenjinkais in different countries, we highlight the revitalization of Fukushima and introduce local specialties from Fukushima to restore faith in the safety of products from the area.

■ 復興支援事業

- ・ 2014 年 1 月：「Fukushima Demain」パリ市庁舎レセプション。
- ・ 2014 年 7 月：ジャパン・エキスポにおいて、高田賢三氏が主催する「起き上がり小法師プロジェクト」に協力。
- ・ 2014 年 8 月：「OECD 東北スクール東北復興祭〈環WA〉in Paris」県出展ブースへ運営協力。
- ・ 2015 年 10 月：ミラノ万博「ふくしまウィーク」で福島について紹介。
- ・ 2015 年 11 月：日仏会館「物置のピアノ」上映会。
- ・ 2016 年 1 月：メゾン エ オブジェ展示会において、参加県関係者の方々と意見交換会。
- ・ 2017 年 5 月：東日本大震災と熊本地震の被災者を支援するイベント「希望祭」に参加し、福島県の PR を行った。

- ・2017年7月：福島県議会議員パリ視察への協力。
- ・2018年3月：「ふくしまプライド フェア in パリ」にて県のPRに協力。
- ・2018年7月：欧州4カ国（英、独、仏、蘭）の県人会が「欧州福島県人会サミット」を開催。
- ・2018年11月：ベルギー日本国大使館「天皇誕生日レセプション」にて欧州4カ国（英、独、仏、蘭）の県人会が福島県の食の安全等をPR。
- ・2019年3月：NHK 福島「福島の桜」写真展にブース出展し福島のPRを行った。
- ・2019年3月：ユネスコ本部にて展示会の見学。県観光交流課への協力。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・January 2014: The Kenjinkai participated in the Fukushima Demain reception at Paris City Hall.
- ・July 2014: The Kenjinkai helped with the Okiagari Koboshi Project hosted by Kenzo Takada at the Japan Expo.
- ・August 2014: The Kenjinkai helped with the Fukushima booth at the OECD Tohoku School Tohoku Fukkosai Festival in Paris.
- ・October 2015: The Kenjinkai introduced Fukushima during Fukushima Week at the Milano Expo.
- ・November 2015: “A Piano in Storage,” was screened at the Maison Franco-Japonaise.
- ・January 2016: Kenjinkai members exchanged opinions with members of other Kenjinkais at the Maison & Objet exhibition.
- ・May 2017: The Kenjinkai promoted Fukushima at the Hope Festival, which supports the victims of the Great East Japan Earthquake and Kumamoto Earthquake.
- ・July 2017: The Kenjinkai helped with the visit from the Members of the Fukushima Prefectural Assembly to Paris.
- ・March 2018: The Kenjinkai helped promote for Fukushima at the Fukushima Pride Fair in Paris.
- ・July 2018: Kenjinkai in four European countries (U.K., Germany, France, and Netherlands) held the European Fukushima Kenjinkai Summit.
- ・November 2018: The European Fukushima Kenjinkai (U.K., Germany, France, and Netherlands) promoted the safety of food from Fukushima at a reception for the Emperor’s birthday at the Embassy of Japan in Belgium.
- ・March 2019: The Kenjinkai ran a booth at the photo exhibition of the Cherry Blossoms in Fukushima produced by NHK Fukushima.
- ・March 2019: The Kenjinkai visited the exhibition at UNESCO headquarters. We also cooperated with the Fukushima Prefectural Government Tourism Promotion Division.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

震災のあの日から10年。震災当初は東日本がパニック状態で、大震災の恐怖や先行きへの不安は、計り知れなかったと思います。それがこの10年で福島県は数多くの面で躍進できたのではないのでしょうか。それは県からの速やかな対応や支援、他国や他県からの援助や支援、受入住民の協力と共有のおかげでもありますし、被災者の方々の辛抱と努力の賜物だと思っています。これが日本人の協調性のある行動であり、敬える精神なのではないのでしょうか。誇りに思います。

遠く離れたフランスからいつでも福島県の事を思っています。「一人ではありません。共に小さなことから将来に繋げてまいりましょう。」

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

It has been 10 years since the Great East Japan Earthquake occurred. When the disaster happened, people in Eastern Japan must have felt tremendous anxiety about the future. In the past 10 years, Fukushima has made major changes and has moved steadily ahead with revitalization and progress has been the result of several factors. Certainly, the immediate response by the Prefecture had an important impact. In addition to this, the outpouring support from other countries as well as prefectures around Japan has made a significant difference. Of course, the compassion shown in the cooperation and sharing of people in areas that supported victims with reduced rents and other help can never be forgotten. Above all, however, it is the patient resilience of the victims of the tragic accident that provides the foundation for recovery. The harmony of cooperation and indomitable spirit are a source of pride.

We always think of the people of Fukushima. You are not alone. We will continue working together to make a bright future.

ドイツ・ノルトライン＝ヴェストファーレン (NRW) 州 福島県人会 / Germany NRW Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2015 年 7 月 11 日
- ・ 代表者：会長 小林 俊雄
- ・ 活動中心地：ドイツ NRW 州
- ・ 会員数：28 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: July 11, 2015
- ・ President: Toshio Kobayashi
- ・ Place of Activity: NRW, Germany
- ・ Members: 28 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ドイツ・ノルトライン＝ヴェストファーレン（NRW）州福島県人会は、2015 年 7 月の設立以降、現地在住者及び日本からの駐在者やその家族を中心に活動している。

年間行事としては、毎年 5 月に開催の「日本デー」における福島県ブースでの活動協力や、日本総領事館主催による例年の天皇誕生日イベントではドイツの人々に、福島県の復興のアピールや日本酒をはじめ福島県の魅力の発信を積極的に行っている。

県人会メンバーでは定期的に懇親会を行う他、有志にて当地のマラソン大会やソフトボール大会などへ参加し、親睦を深めている。

欧州各国の県人会とも密接な連携を取りながら、福島県の復興と県産品の魅力を発信し、福島県の風評払拭を支援している。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Germany NRW (Nordrhein Westfalen) Fukushima Kenjinkai was established in July 2015 and has been run by residents, company employees assigned to the area and their families.

The Kenjinkai helps run a Fukushima booth at the “Japan Day” event in May each year. We also promote the revitalization of Fukushima and introduce sake and other local specialties from Fukushima at the celebration of the Emperor’s birthday hosted by the Consulate-General of Japan in NRW.

The members of the Kenjinkai hold periodical gatherings and participate in marathon and softball competitions to promote interactions.

In cooperation with other Kenjinkais in Europe, we continue to promote the revitalization and local specialties of Fukushima and support Fukushima by dispelling harmful rumors.

■ 復興支援事業

- ・ デュッセルドルフで開催された「日本デー」における福島県のブース出展での PR（観光や県産品の紹介）への協力（2015 年～2019 年）
- ・ 在デュッセルドルフ総領事館天皇誕生日祝賀レセプションにおける福島県のブース出展への協力。（2015 年～2019 年）
- ・ 欧州 4 カ国（英、独、仏、蘭）の県人会が「欧州福島県人会サミット」を開催。
（第 1 回：2017 年 6 月オランダライデンで開催。第 2 回：2018 年 7 月：ドイツ・デュッセルドルフで開催。）

- ・2018年3月：知事欧州訪問における「ふくしまプライド。フェア in パリ」にて、福島県のPRに協力。
- ・2019年5月：ベルギー・ブリュッセルで開催された「日・EU ビジネス・ラウンドテーブル」レセプションで福島県の食の安全PRに協力。
- ・2019年6月：ベルギーで開催された欧州連合日本政府代表部大使公邸での「ガーデン・パーティ」で県産酒や食品を紹介。
- ・2019年9月：シュタットベルゲンで開催された「日本デー」における福島県のブース出展でのPR（観光や県産品の紹介）への協力
- ・2019年10月：知事欧州訪問の際に県のPR事業に協力。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ Helped promote tourism in Fukushima and its local specialties at a booth held by Fukushima Prefectural Government at the “Japan Day” event in Dusseldorf (2015-2019).
- ・ Helped with a Fukushima booth at a reception celebrating the Emperor’s birthday hosted by the Consulate-General of Japan in Dusseldorf (2015-2019).
- ・ The Kenjinkais in four European countries (U.K., Germany, France, and the Netherlands) held the European Fukushima Kenjinkai Summit. (1st: June 2017 in Leiden, Netherlands) (2nd: July 2018: Dusseldorf, Germany)
- ・ March 2018: Helped promote Fukushima at the Fukushima Pride Fair in Paris when the Governor of Fukushima visited Europe.
- ・ May 2019: The Kenjinkai promoted the safety of food from Fukushima at a reception for the Japan-EU Business Roundtable held in Brussels, Belgium.
- ・ June 2019: The Kenjinkai introduced sake and food from Fukushima at a garden party at the residence of the Ambassador of the Mission of Japan to the European Union in Belgium.
- ・ September 2019: Helped promote Fukushima (introducing tourism and local specialties) at a booth held by Fukushima Prefectural Government at the Japan Day event in Stadt Bergen, Germany.
- ・ October 2019: Helped promote Fukushima when the Governor of Fukushima visited Europe.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

あの日から 10 年。復興に向けて動き出して 10 年。私達は今ドイツに住んでいますが、震災後 5 年程は「フクシマ」というマイナスイメージや風評を頻繁に耳にしました。しかし、今はもう殆ど聞くことはありません。

これまでの復興・PR 活動は少しずつでも着実に実を結んでいます。今後はそれをどうやって更なるプラスへと変えていくか。農産物、食品、日本酒のみならず再生可能エネルギー事業など、とても素敵な「福島ブランド」がたくさんあります。私達の大好きな「福島県」を世界に発信していきましょう。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

10 years have passed since the Great East Japan Earthquake. Negative comments and rumors about Fukushima have been heard for around 5 years after the disaster but we in Germany don't hear such anymore.

The revitalization and PR activities have steadily achieved good results. For Fukushima's future, we need to keep moving forward. Fukushima has a lot of wonderful brands such as agricultural products, food, sake as well as renewable energy projects.

We hope that Fukushima, the home we love, will be recognized more in the world.

香港華南地区福島県人会 /

Hong Kong & South China Fukushima Kenjinkai Association

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1993 年
- ・ 代表者：会長 安カ川 泰洋
- ・ 活動中心地：中華人民共和国 香港及び深圳
- ・ 会員数：78 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: 1993
- ・ Chairman: Yasuhiro Yasukagawa
- ・ Place of Activity: Hong Kong and Shenzhen, China
- ・ Members: 78 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

当会は1993年創設後、97～98年アジア通貨危機以降の休眠状況を経て2005年頃に広東省全域を加えた「香港華南地区県人会」として再スタートを切り、積極的に福島県を紹介してきた。現在会員の8割以上は県内で生まれ育った方々で構成されている。年間3～5回、香港を始め深圳・広州・珠海等で食事会を開催しているが国境を跨ぐ移動となるのでコロナ禍ではビデオ会議方式を採用している。

毎年開催される天皇誕生日レセプションには福島県ブースを開設して復興情報をアピールする他、毎年3月には東日本大震災被害者追悼式を開催している。また、県庁関連部署と連携して復興イベントで風評の払拭を支援している。一方、海外県人会ネットワークを活用して情報共有や連携を行っている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Our Kenjinkai was established in 1993. However, during the 1997-1998 Asia financial crisis, the community activities had to stop temporarily. In 2005, the community was restarted as “Hong Kong and South China Fukushima Kenjinkai Association” including the whole area of Guangdong and has since been actively promoting Fukushima Prefecture.

Currently more than 80% of the members of this community were born and raised in Fukushima. There used to be dinner or lunch gatherings of the community members in Hong Kong, Shenzhen, Guangzhou and Zhuhai 3 to 5 times a year, as we need to cross the border. During the coronavirus pandemic, zoom meetings have temporarily been held instead.

Every year, during the Emperor's birthday reception party, the Kenjinkai has been running a booth to spread information about the situation of revitalization in the Prefecture. Every March, there is a memorial event to commemorate the victims of the Great East Japan Earthquake and the Kenjinkai has assisted these events. Also, working closely with relevant divisions of the Prefectural Government, we have supported the Prefecture to dispel harmful rumors at events about revitalization. In addition, we share information and coordinate with other groups using the Overseas Fukushima Kenjinkai network.

■ 復興支援事業

- ・ 2014 年 3 月：東日本大震災追悼東北六県人会を日本人倶楽部で開催
- ・ 2015 年 3 月：福島県上海事務所が主催する「福島ふるさと復興のつどい」に参加
- ・ 2017 年 3 月：香港にて「3.11 大震災追悼式典」青森県人会との共催により実施
 - 7 月：鈴木副知事御来港に際し県庁観光促進団の側面支援
 - 10～11 月：香港浸会大学・城市大学・公開大学で「福島復興の歩み」講演会開催
 - 12 月：天皇誕生祝賀会で県産品展示
- ・ 2018 年 3 月：PMQ にて開催された県主催「福島縁日」を支援
 - 3 月：「3.11 大震災追悼記念集会」を湾仔で開催
 - 6 月：末廣酒造新城社長・県産品振興戦略課と合同で小規模イベント開催
 - 12 月：元巨人軍選手鈴木尚広氏（相馬市出身）を囲むイベントで県産品をアピール
- ・ 2019 年 1 月：県知事として初めて内堀県知事が来港し各種イベントへ参加
 - 3 月：「香港日通 40 周年記念」に福島県ブースを出展し県産品を紹介

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- March 2014: The Kenjinkai held the Great East Japan Earthquake Memorial Party at Japanese Club.
- March 2015: The Kenjinkai participated in the “Gathering to Support the Revitalization of Fukushima” hosted by Fukushima Prefectural Government Shanghai Office.
- March 2017 : The Kenjinkai held the “11th March Disaster Memorial Ceremony” with Aomori Prefecture.
- July 2017 :The Kenjinkai supported Fukushima Prefectural Government at the time of Vice Governor Suzuki’s visit.
- October to November 2017:The Kenjinkai organized presentations at the Hong Kong Baptist University, the City University of Hong Kong, and the Open University of Hong Kong and reported progress in the revitalization of Fukushima.
- December 2017: The Kenjinkai ran a booth at the reception for the Emperor’s Birthday hosted by the Embassy of Japan and shared information about Fukushima.
- March 2018: The Kenjinkai assisted in “Fukushima Ennichi” event sponsored by Fukushima Prefectural Government held at PMQ.
- March 2018: “11th March Disaster Memorial Ceremony” held at Wanchai.
- June 2018 : The Kenjinkai held a joint event with “Mr Shinjyo”, the President of Suehiro Shuzo and Fukushima Prefectural Government Trade Promotion Division.
- December 2018: Organized a reception party for former Yomiuri Giants baseball player Mr. Takahiro Suzuki (from Soma City) and promoted products made in Fukushima
- January 2019: Governor Uchibori visited Hong Kong, for the first time as a governor, attending several events.
- March 2019: The Kenjinkai ran a booth to introduce Fukushima products at “Nippon express 40 years Anniversary Party”.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

2021 年で震災後 10 年を迎えますが、いわき市や相馬市などの沿岸地域の復興の様子や復旧工事が完了まであと少しという状況は、ニュース等で伺い知ることができます。

しかし、原子力発電所の廃炉は今後数十年を要し、風評被害もいつまで続くのかわからない状態です。香港・華南地区県人会は、当地で開催するイベントや現地メディアを通じ、日本人だけでなくローカルの人々へ、県産品風評の払拭や福島の魅力発信を県人会会員一丸となってお手伝いさせていただきます。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

2021 will be the 10th anniversary of the disaster.

Many of the coastal cities such as Iwaki City and Soma City are almost fully restored and this can be easily found in the media.

The nuclear power station will take many more years to decommission, but the damages caused by harmful rumors will have an equally lasting effect.

The Fukushima Prefectural Government is creating events in partnership with the Hong Kong and South China district Fukushima Kenjinkai Association. We would love to have the chance to talk to local media and not just target Japanese residents but also the local residents in Hong Kong and we would like to come together as one to re-introduce them the charms of Fukushima Prefecture and dispel the harmful rumours.



北京福島県人会 / Beijing Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1997 年 11 月 29 日
- ・ 代表者：会長 小林 金二
- ・ 活動中心地：中華人民共和国北京市
- ・ 会員数：25 人

■ Basic Information of Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: November 29, 1997
- ・ President: Kinji Kobayashi
- ・ Place of Activity: Beijing, China
- ・ Members: 25 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

北京福島県人会は、福島に縁のある方の集まりである。福島への復興支援や、風評払拭に努めており、食品輸入の規制が敷かれている中国で、安全性を、一人でも多くの方に知っていただくために、活動をしている。

例を挙げれば、大使館の行事等に福島県上海事務所と一緒に参加して、観光 PR や田村地方の郷土料理一升漬けの試食等を行い、ご来賓の皆様にも、多大な好評をいただいている。地域の魅力発信事業では、特産のお米を提供していただき、北京に住む方へ、去年は山形県と一緒に蒸寿司の、今年は石川県と一緒に美味しいおにぎりの作り方の実演講習会を開催した。福島県産食材が輸入解禁の折には、福島産の食品や飲料等をアピールしてまいりたい。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Beijing Fukushima Kenjinkai consists of individuals associated with Fukushima. They support the revitalization and help the prefecture dispel harmful rumors. In China, where food imports from Fukushima are still restricted, we actively work to educate the public about the safety of food from Fukushima.

For example, we jointly participate in an event hosted by the Embassy with the Fukushima Prefectural Government Shanghai Office to promote tourism in Fukushima. We provided Isshozuke, local specialty pickles from the Tamura Area, for tasting. They were highly regarded by many guests. Using rice provided by Fukushima, we held a class on making steamed sushi with Yamagata Prefecture last year, and we hosted a class on making delicious rice balls with Ishikawa Prefecture this year. When food imports from Fukushima start again, we would like to continue highlighting the prefecture's safe and delicious food and beverages.



■復興支援事業

- ・在外福島県人会サミット参加（第1回、第2回、第3回）
- ・在中国日本国大使館主催の天皇誕生日レセプションにて食の安全をPR。（2016年、2017年、2018年）
- ・在中国日本国大使館主催「地域の魅力海外発信事業」でイベントを開催。郷土料理の紹介、食の安全をPR。（2019年）
- ・2018年11月：大使館での天皇誕生日祝賀レセプションにて本県のPRを実施。
- ・「福島ふるさと復興のつどい(中国4県人会合同)」開催。県産品PR活動、写真展の開催を通じて復興をPR。（2015年、2016年）

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ The Kenjinkai participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit. (1st, 2nd, and 3rd)
- ・ The Kenjinkai promoted the safety of food from Fukushima at a reception for the Emperor's birthday hosted by the Embassy of Japan in China. (2016, 2017, and 2018)
- ・ The Kenjinkai hosted a project event to share the charms of the region at the event hosted by the Embassy of Japan in China. They introduced local specialty meals and highlight safety of food from Fukushima. (2019)
- ・ November 2018: The Kenjinkai promoted Fukushima at a reception for the Emperor's birthday hosted by the Embassy of Japan.
- ・ Four Kenjinkais in China jointly hosted a gathering to support the Revitalization of Fukushima. They highlighted local specialties from Fukushima and exhibited photos to support revitalization. (2015, 2016)

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

10年と言う月日が流れ、震災にあわれた方のご冥福をお祈り申し上げますと共に、復興に全力を尽くされた方々に御礼申し上げます。未だに世界には、まだまだ日本と聞くだけで、原発事故の影響がある国と、認識している人たちが沢山おります。福島の地名も認識しており、福島の農水産品は危ないと言う方もおりますが、震災後福島に行って来られた方もいらっしゃいます。日本産物産展示会等の行事には、県人会会員も参加し、現状の福島をアピールしていただき、これからもこの様な活動を推進してまいりたいと存じます。

日本酒の試飲会等の場では、日本酒鑑評会で金賞受賞数が福島県は日本一の旨を伝えながらお酒を勧めたり、福島の良さを伝え活動に参加し続けていきたいと思っております。一人でも多くの人に現状の安心、安全、美の福島を伝え、風評払拭に努めたいと思っております。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

It has been 10 years since the Great East Japan Earthquake. We offer our prayers to the souls of those who lost their lives and wish to recognize the great efforts that the people of Fukushima have made to rebuild the prefecture and their lives. There are still many around the world that see Japan as a country still suffering from the aftermath of nuclear power station accident. Many are aware of Fukushima and think that agricultural and fishery products from the prefecture are contaminated. However, many have also visited Fukushima since the disaster and recognized its safety and progress in revitalization. The Beijing Fukushima Kenjinkai continues to participate in events that introduce Fukushima and its local specialties to highlight their safety.

At sake tasting events, we introduce Fukushima sake that was awarded the gold prize by the National Bureau's Research Institute of Brewing. Of course, we share information on the beauty of Fukushima and the progress of revitalization while we are there. We would like to do as much as we can to dispel harmful rumors of Fukushima and its wonderful products.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1998 年 7 月 23 日
- ・ 代表者：会長 国分 昭彦
- ・ 活動中心地：中華人民共和国上海市
- ・ 会員数：200 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: July 23, 1998
- ・ President: Akihiko Kokubu
- ・ Place of Activity: Shanghai, China
- ・ Members: 200 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

上海福島県人会では、1998 年の設立以降、現地駐在者とその家族を中心に活動を行っている。2004 年の福島県上海事務所の開設以降は、同事務所と合同で、福島県の魅力紹介や、風評払拭のための P R 活動を行っている。

年間行事としては、年に 4 回程度の懇親会を開催している。このうち 3 月の懇親会は、「ふくしまの復興」へ思いを馳せる場となっている。

上海の駐在員を中心に活動しているが、時には日本からの出張者も交えながら、福島県人の交流の場となっている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Shanghai Fukushima Kenjinkai has been operated by company employees assigned to Shanghai from Fukushima and their families since its foundation in 1998. Since the establishment of the Fukushima Prefecture Shanghai Office in 2004, the Kenjinkai has introduced the charms of Fukushima and has promoted activities to dispel harmful rumors of Fukushima jointly with office staff.

The Kenjinkai holds gatherings about four times a year. The gathering in March is always a special meeting to think about the revitalization of Fukushima.

Although the company employees assigned to Shanghai play the central role of the Kenjinkai, we sometimes invite people who came to Shanghai for business.

■ 復興支援事業

- ・ 在外福島県人会サミット参加（第 1 回、第 2 回）
- ・ 在上海日本国総領事館主催の天皇誕生日レセプションにて本県情報を発信。（2011 年～ 2018 年）
- ・ 「ふくしま復興のつどい（上海県人会単独）」開催。震災経験者による講演、復興状況のパネル展示等を実施。（2013 年、2014 年）
- ・ 「福島ふるさと復興のつどい（中国 4 県人会合同）」開催。県産品 P R 活動、写真展の開催で復興を P R。（2015 年、2016 年）
- ・ 上海市田子坊の日本産品アンテナショップでの県産品 P R 活動（2018 年）
- ・ 復興支援セミナー、食の安全セミナー、復興支援映画の上映会の開催（2017 年、2018 年、2019 年）

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- The Shanghai Fukushima Kenjinkai participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st and 2nd).
- The Kenjinkai shared information about Fukushima at a reception for the Emperor's birthday hosted by the Consulate-General of Japan in Shanghai (2011-2018).
- The Fukushima Kenjinkai in Shanghai hosted a gathering to support the revitalization of Fukushima, provided lectures by individuals who experienced the disaster, and had a panel exhibition to show the progress in the revitalization of Fukushima. (2013, 2014)
- Four Kenjinkais in China jointly hosted a gathering to support the revitalization of Fukushima. They highlighted local specialties from Fukushima and exhibited photos to support revitalization. (2015, 2016)
- The Kenjinkai members visited an antenna shop for Japanese products in Tianzifang, Shanghai to promote products from Fukushima. (2018)
- The Kenjinkai held seminars to support the revitalization of Fukushima, seminars for food safety, and screenings of a movie to support the revitalization of Fukushima. (2017, 2018, 2019)

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

地震と津波、そして福島第一原子力発電所の事故と未曾有の複合災害で被害にあわれた方々、今なお不自由な避難生活をされている方々に、改めてお見舞い申し上げます。

この 10 年の間、福島県民の皆様が懸命に努力され、復興への歩みを着実に進めておられることを福島県に所縁を持つものとして大変誇らしく思います。

残念ながら、ここ上海でもいまだに原子力発電所事故に係る影響を心配する人も多くいますし、日本酒をはじめ食料品も輸入できない状況が続いております。

上海福島県人会としましては、上海で、イカニンジン肴に福島県の酒が酌み交わせる日が来ることを祈りながら、福島の風評払拭に向けて PR を行ってまいります。

福島県の日も早い復興をお祈りしています。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

We offer our prayers to those who were affected by the overwhelming complex disaster caused by the earthquake and tsunami, and the accidents at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station; and we offer our support to the people who are still living in evacuation sites.

Seeing the progress that people in Fukushima have made in the past 10 years, we feel an immense pride in the strength and fortitude of the people who have made steady progress toward revitalization.

Unfortunately, many people in Shanghai are still anxious about the influence of the nuclear power station accident, and we are still unable to import sake and other food from Fukushima.

The Shanghai Fukushima Kenjinkai continues promoting Fukushima to dispel harmful rumors of the prefecture while praying that we will be able to eat “Ikainnjin” (local cuisine in Fukushima) and drink sake produced in Fukushima. We all pray for a complete revitalization of Fukushima as soon as possible.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2014 年 3 月 11 日
- ・ 代表者：会長 新井 祐一
- ・ 活動中心地：ベトナム ホーチミン市
- ・ 会員数：30 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: March 11, 2014
- ・ President: Yuichi Arai
- ・ Place of Activity: Ho Chi Minh, Vietnam
- ・ Members: 30 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

在越福島県人会は、2014年3月11日、ホーチミン市に設立される。ちょうど震災から3年目の日、「繋がる場」作りを目的に、数名の有志で立ち上げたとのこと。以降、駐在員や起業家、その家族などを中心に様々な福島県出身者や福島に縁のある方が集まり、現在は約30名の規模となり、定期的に懇親会やゴルフコンペなどを開催し、親睦を深めている。また、他の都市の福島県人会や、東北の他県人会とも交流を図るなど活動範囲は広がっている。福島に関係するヒト・モノ・コトは大歓迎の当会。例えば、県の観光PRイベントや県産品の販売会などが開催される際などは、会員がこぞって参加するなど、繋がりを楽しんでいる。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Zaietsu Fukushima Kenjinkai was established in Ho Chi Minh City on March 11, 2014, the 3rd anniversary of the Great East Japan Earthquake. The initial members wanted to create a group to help connect people associated with Fukushima. Since then, many people related to Fukushima, including people working at Japanese companies and institutions in Ho Chi Minh City, people who have started businesses in Vietnam, and family members have joined the Kenjinkai. Membership now stands at about 30 members. We have periodic gatherings and golf tournaments to deepen relationships among members. In addition, we also interact with Fukushima Kenjinkais in other cities and Kenjinkais in other prefectures in the Tohoku Region, and have expanded our activities. We welcome people and anything related to Fukushima. For example, members participated in events that highlight tourism in Fukushima and sell local specialties from Fukushima.



■復興支援事業

- ・ 2017 年 7 月：第 1 回アジア圏福島県人会サミット（バンコク）に参加（シンガポール、タイ、ベトナム、ミャンマー、インドの 5 県人会の代表が活動状況や今後の活動方針を協議し、今後の情報交換と交流を誓い合った。）
- ・ 2017 年 8 月：内堀知事によるホーチミンでの福島県産梨の店頭プロモーションの際、県人会も協力。
- ・ 2017 年 11 月：第 3 回 在外福島県人会サミットに参加。
- ・ 2018 年 1 月：第 5 回 Japan Vietnam Festival in Ho Chi Minh に、県とふくしま・ベトナム友好協会が参加された際、県人会も交流を図る。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ July 2017: The Kenjinkai participated in the 1st Asian Fukushima Kenjinkai Summit (in Bangkok). Representatives from five Fukushima Kenjinkais (Singapore, Thailand, Vietnam, Myanmar, and India) reported their activities, discussed the direction of future activities, and confirmed future interactions and information exchange.
- ・ August 2017: The Kenjinkai cooperated with a store-front promotion for pears from Fukushima in Ho Chi Minh City, sponsored by Masao Uchibori, the Governor of Fukushima.
- ・ November 2017: Participated in the 3rd Overseas Fukushima Kenjinkai Summit.
- ・ January 2018: The Kenjinkai supported Fukushima Prefecture and Fukushima-Vietnam Friendship Association when both organizations participated in the 5th Japan Vietnam Festival in Ho Chi Minh.

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

震災後、「分断」が社会問題となっています。社会的な分断を乗り越えるために、「絆」の大切さが再認識され、互助や共生への取組が続く中、今まで以上に「繋がる」ことが重要ではないでしょうか。福島とベトナムとの繋がりを太くするために、県と県人会で力を合わせていきたいと思います。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

Following the Great East Japan Earthquake, isolation has become a social issue. To address this, we have recognized the importance of human connections and have worked to promote cooperation and coexistence. It is now more important than ever for us to build firm relationships with others, and the members of the Fukushima Kenjinkai in Vietnam work together with Fukushima Prefecture to strengthen the bond between Fukushima and Vietnam.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2014 年 6 月
- ・ 代表者：会長 桑折 信明
- ・ 活動中心地：シンガポール
- ・ 会員数：25 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: June 2014
- ・ President: Nobuaki Kori
- ・ Place of Activity: Singapore
- ・ Members: 25 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

シンガポール福島県人は、35 年前に設立されたが過去 2 回中断した。同じ県民が苦勞している国で福島県民同士の和を築き、持続していくことを第一モットーに 2014 年 6 月に再設立、現地駐在者を中心に活動を行っている。

年間行事としては、偶数月の第一水曜日に県人会の皆様と懇親会を開催している。

また、福島県産品の魅力を発信している。県産品振興戦略課と連絡を取り合い、地元民の協力を得ながら桃の販売（2014 年より開始）、蜜入りリンゴの販売（2019 年より開始）をし、福島県の魅力を宣伝している。また、福島県発行のパンフレットを県人会の馴染みレストランの協力を得ながら、地元の方へ配布している。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Fukushima Singapore Kenjinkai was established 35 years ago; however, it ceased activities twice during the 35 years. In June 2014, it was re-established to build relationships among people from Fukushima. Individuals assigned to Japanese companies in Singapore play a central role in the group.

We gather on the first Wednesday of even-numbered months. We also keep in touch with the Fukushima Prefecture Trade Promotion Division to provide information about local specialty products from Fukushima, sell peaches (from 2014) and fully ripened apples (from 2019) from Fukushima with the help of local Singaporeans, and we work hard to highlight the many wonderful aspects of Fukushima. We deliver pamphlets published by the Fukushima Prefectural Government to local residents with the help of restaurants whose owners are acquaintances of the Kenjinkai members.



■復興支援事業

- ・ NPO 団体が実施する震災、放射能被ばくによるトラウマを受けた広野町の子供達への「アートセラピープログラム」に協力し、関係者にパンフレットや、民芸品を配り、福島県情報を発信 (2016 年、2017 年、2018 年)。
- ・ 2017 年 7 月：第 1 回アジア圏福島県人会サミットをバンコクで開催 (シンガポール、タイ、ベトナム、ミャンマー、インドの 5 県人会の代表が活動状況や今後の活動方針を協議し、今後の情報交換と交流を誓い合った。)
- ・ 2017 年 11 月：在外福島県人会サミット参加 (第 3 回)。
県産品振興戦略課と連絡を取り合い、地元民の協力を得ながら桃の販売 (2014 年より)、蜜入りリンゴの販売 (2019 年より) を実施。
- ・ いわき産学官ネットワーク協会主催、経産省、いわき市、いわき商工会議所協力により、シンガポールグローバル連携交流事業促進のための情報交換、懇親会の実施 (2018 年、2019 年)。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ The Kenjinkai cooperated with an NPO's Therapy Program for children in Hirono Town, Fukushima traumatized by the earthquake, tsunami, and radiation. We delivered pamphlets featuring Fukushima, art crafts from Fukushima and promoted Fukushima to people at the NPO. (2016, 2017, 2018)
- ・ July 2017: The Kenjinkai participated in the 1st Asian Fukushima Kenjinkai Summit (in Bangkok). Representatives from five Fukushima Kenjinkais (Singapore, Thailand, Vietnam, Myanmar, and India) reported their activities, discussed the direction of future activities, and confirmed future interactions and exchanged information.
- ・ November 2017: The Kenjinkai participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (3rd). The Kenjinkai keeps in touch with the Fukushima Prefecture Trade Promotion Division and sells peaches (from 2014) and fully ripened apples (from 2019) from Fukushima with the help of local Singaporeans.
- ・ The Kenjinkai exchanged information and had a gathering to promote the global collaborative and exchange projects in Singapore hosted by the Iwaki Industry-University-Government Network Association in cooperation with the Ministry of Economy, Trade and Industry, Iwaki City, and Iwaki Chamber of Commerce and Industry. (2018, 2019)

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

数年前に比べ風評の払拭も進み福島県の知名度も上がったように感じられます。

シンガポールにおいて、日本の購入価格の 2 倍近くする福島県産の桃を 2014 年より、蜜入りリンゴを 2019 年より、シンガポール地元民に紹介しています。高額であるものの、大変評判が良く、毎年購入していただいています。高額であるので購入される果物の傷、味がよくなかった場合を心配しますが、毎年、皆様のご協力で地元購入者はみんな満足しています。

我々福島県人会の会員は本業を別に持っており、時間的な制約等があるため独自で新規案件に取り組むことは難しいですが、福島県民の方々より具体的な依頼があればご協力したいと思っておりますので、遠慮なくご相談ください。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

People in Singapore have increasingly recognized the progress of revitalization in Fukushima, and they feel more secure about the safety of imported products. From 2014, we have sold peaches from Fukushima, which are nearly double the price in Japan due to costs associated with import, and fully ripened apples from Fukushima since 2019. Although they are expensive, they are popular with Singaporeans, who purchase them every year. Taste and appearance are important, and customers here are quite satisfied with the quality.

Although members of the Kenjinkai all have full time jobs that make it difficult for them to work on new promotions, we are always happy to cooperate with people in Fukushima. If you have a specific request, please feel free to contact us.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2014 年 9 月 26 日
- ・ 代表者：会長 成田 真美
- ・ 活動中心地：韓国 ソウル
- ・ 会員数：33 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: September 26, 2014
- ・ President: Mami Narita
- ・ Place of Activity: Seoul, South Korea
- ・ Members: 33 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ソウル福島県人会では、2014 年の設立以降、韓国在住者を中心に活動を行っている。

年間行事としては、毎年開催される「日韓お祭り」や「定例会」で会員間の親睦を図ったり、福島県の魅力の紹介や、福島県の復興情報のアピールをしている。

昨年から山形県人会との共同定例会の企画などしながら、在韓の他の県人会とも連携を取りつつ、福島県の復興と県産品の魅力を発信し、福島県の風評払拭を支援している。今年は小規模での定例会を行っている。これからも韓国での福島風評拡散の防止のために使命感を持って活動していく予定である。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Since its establishment in 2014, mainly Korean residents have been doing activities at the Seoul Fukushima Kenjinkai. For annual events, we promote friendship among members at the annual Japan-Korea Festival and regular meetings, introducing the charms of Fukushima Prefecture, and promote information on the revitalization of Fukushima Prefecture.

Since last year, our Kenjinkai has been promoting the revitalization of Fukushima Prefecture and the charms of prefectural products while planning joint regular meetings with Yamagata Kenjinkai and cooperating with other Kenjinkais in Korea, thereby helping to dispel harmful rumors in Fukushima Prefecture. We have been holding small-scale regular meetings this year. We will continue to work with a sense of mission to prevent the spread of harmful rumors about Fukushima in South Korea.

■復興支援事業

- ・2015 年 10 月：交流イベント「ソウルと東京の間」にて芋煮を振る舞うとともに福島県の情報を発信。
- ・2015 年 ：大使館の平成 27 年天皇誕生日レセプションにて福島県の情報を発信。
- ・2017 年 2 月：福島の花展示会を開催
- ・2017 年 2 月：在外福島県人会サミット参加（第 3 回）

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・October 2015: Information about Fukushima Prefecture was shared along with serving Imoni at the exchange event "Seoul-Tokyo section".
- ・2015: Information about Fukushima Prefecture was shared at the Embassy's 2015 Emperor's Birthday reception.
- ・February 2017: Fukushima Flower Exhibition was held.
- ・February 2017: Participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (3rd)

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

福島県の皆様、震災後 10 年を迎え、故郷に駆け付けられないことで心痛めておりましたが、目覚ましい復興状況を見ながら皆様の底力に驚き感謝しております。これからも益々の発展をお祈りいたします。韓国でも福島の良いさを積極的にアピールしてまいります。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

To all of you in Fukushima Prefecture, I have been distressed by not being able to come back to your hometown for 10 years since the earthquake disaster, but I am surprised and grateful to you in your potential while watching the remarkable reconstruction situation. I wish you continued development. We will actively promote the goodness of Fukushima in Korea.



バンコク福島桃の会 / Bangkok Fukushima Momo no Kai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2015 年 1 月 17 日
- ・ 代表者：会長 石川 貴志
- ・ 活動中心地：タイ バンコク
- ・ 会員数：106 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: January 17, 2015
- ・ President: Takashi Ishikawa
- ・ Place of Activity: Bangkok, Thailand
- ・ Members: 106 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

バンコク福島県人会は、タイ在住の福島県関係者が相互に交流を行い、親睦を行うことで「福島県」をキーワードとした人的ネットワークをタイに築き、情報の収集・発信を行い、福島県とタイの更なる交流の発展を目指すべく、2015 年に設立した。設立以降、現地駐在者とその家族を中心に活動を行っている。

年間行事としては、メインイベントとして「芋煮会」を 11 月頃に開催している。他にもゴルフコンペを年 4 回及び適宜懇親会を実施し、会員の親睦を深めている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Bangkok Fukushima Momo no Kai was established in 2015 to promote interactions among people associated with Fukushima living in Thailand, to build human networks to exchange information about Fukushima, and expand the relationship between the two countries. Since its establishment, company employees assigned to Thailand and their families have played central roles in the Kenjinkai.

We hold a gathering in November and have fun eating traditional boiled potatoes together. We also have golf competitions four times a year and hold other gatherings when we can to deepen our relationship.



■復興支援事業

- ・ 2016 年 5 月：県と連携し、知事訪問等にかかるタイでの情報発信等に全面的に協力。
- ・ 2016 年 8 月：桃販売活動支援。
- ・ 2016 年 11 月：見知らず柿販売活動支援。
- ・ 2017 年 7 月：第 1 回アジア圏福島県人会サミットをバンコクで開催（シンガポール、タイ、ベトナム、ミャンマー、インドの 5 県人会の代表が活動状況や今後の活動方針を協議し、今後の情報交換と交流を誓い合った。）。
- ・ 2017 年 8 月：福島桃販売に伴う交流会開催。
- ・ 2017 年 11 月：在外福島県人会サミット参加（第 3 回）
- ・ 2018 年 8 月：畠副知事のタイ訪問。福島ユナイテッドの国際親善試合開催時に桃の販売等活動支援。
- ・ 2019 年 1 月：「子供の笑顔 The big kiss project」タイ訪問時、福島県産日本酒の PR 活動支援。
- ・ 2019 年 9 月：井出副知事のタイ訪問。に係る桃の販売活動等支援。
- ・ 2019 年 11 月：見知らず柿販売活動支援。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ May 2016: The Kenjinkai helped share information at the time of Governor's visit to Thailand in cooperation with Fukushima Prefectural Government.
- ・ August 2016: Supported the sale of peaches from Fukushima
- ・ November 2016: Supported the sale of persimmons from Fukushima
- ・ July 2017: The Kenjinkai participated in the 1st Asian Fukushima Kenjinkai Summit in Bangkok. Representatives from five Fukushima Kenjinkais (Singapore, Thailand, Vietnam, Myanmar, and India) reported their activities, discussed the direction of future activities, and confirmed future interactions and exchanged information.
- ・ August 2017: The Kenjinkai held a meeting for selling Fukushima peaches.
- ・ November 2017: The Kenjinkai participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (3rd).
- ・ August 2018: Supported the sale of peaches from Fukushima at an international friendly football match between Fukushima United in Thailand when the Vice Governor Hata visited Thailand.
- ・ January 2019: The Kenjinkai helped promote for sake from Fukushima when Children's Smile – The Big K.I.S.S. Project members visited Thailand.
- ・ September 2019: Supported the sale of peaches from Fukushima during the visit of Vice Governor Ide to Thailand.
- ・ November 2019: Supported the sale of persimmons from Fukushima

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

若い頃の私は地元への愛着心がなかった。早く田舎を出たかった。福島弁を話す自分が嫌だった。しかしあの震災をきっかけに故郷への思いは 180 度変わった。自分は福島県人なのだというアイデンティティが沸々とき湧き起こってきた。自分を育んでくれた福島への愛がマグマのように噴き出して止まらなくなった。以来、故郷のために私にできることは何なのだろうと考えてきた。その答えがひとつ見つかった。それは「福島ファン」を増やすこと。バンコクの福島県人会の会長として、福島 LOVE！な人をどんどん増やす、そんな草の根活動を続けていきたい。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

When I was younger, I did not think much about my hometown. I just wanted to get out of there. I did not like using the Fukushima dialect. However, the Great East Japan Earthquake completely changed my feelings. My identity as a person from Fukushima gradually arose and my affection for Fukushima became limitless. Since then, I have thought constantly about what I could do for Fukushima. One idea I had was to increase the number of people who knew and cared about Fukushima. As the President of the Fukushima Kenjinkai in Bangkok, I will continue doing my best to introduce people to the beauty and charm of my hometown, Fukushima.

インド福島県人会 / India Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2015 年 11 月
- ・ 代表者：会長 滝 将行 事務局長 早坂 薦
- ・ 活動中心地：インド デリー
- ・ 会員数：15 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: November, 2015
- ・ President: Masayuki Taki
- ・ Place of Activity: Delhi, India
- ・ Members: 15 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

加入条件：福島県出身者等福島県にゆかりがある方並びに福島県に愛がある方。会員には県外出身者で、福島県にゆかりがある方並びに福島ファンの方多数。

活動内容：2 ヶ月に 1 回程度懇親会実施。例年、日本人会夏祭で福島県に関わるブースを出展し、浪江焼きそば、喜多方ラーメンや、福島県産オリジナル米「天のつぶ」、福島県産桃ジュース「桃の恵み」等を PR。

活 動 地：インド、デリー。会員はムンバイやアーメダバード等インド各地に在住し、インド国外のOBも多数。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The India Fukushima Kenjinkai consists of those who are from Fukushima or related to Fukushima, or those who love Fukushima. A lot of members are from outside Fukushima but are related to Fukushima and love Fukushima. We have a gathering once every two months. We ran a Fukushima booth at the summer festival hosted by the Japanese Society of India and introduce local specialties of Fukushima such as Namie fried noodles, Kitakata ramen, Ten-no-Tsubu (rice produced in Fukushima), and Momo-no-Megumi juice made of peaches produced in Fukushima. Major activities are held in Delhi, India. Some members live in different locations in India such as Mumbai and Ahmedabad. Former members are living outside India.



■復興支援事業

- ・2016年3月:在インド日本大使館主催の東日本大震災追悼イベントで矢野会長が講演を実施。
- ・2016年9月:デリー日本人学校夏祭にインド福島県人会ブースを設置し福島県PRと復興支援募金活動を実施。
- ・2017年9月:日本人会夏祭(デリー日本人学校)参加。浪江焼そばブースを設置、福島県復興のPRと募金活動実施。
- ・2018年9月:日本人会夏祭(デリー日本人学校)参加。喜多方ラーメンブース設置し、福島県復興のPR実施。福島県産オリジナル米「天のつぶ」、福島県産桃ジュース「桃の恵み」等PR。
- ・2019年8月:日本人会夏祭(デリー日本人学校)参加。福島県産オリジナル米「天のつぶ」で作ったおにぎり、福島県産桃ジュース「桃の恵み」等PR。

■Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・March 2016: The President Yano made a speech at the commemorating ceremony for the Great East Japan Earthquake hosted by the Embassy of Japan in India.
- ・September 2016: The Kenjinkai ran a booth at the summer festival at the Japanese School in Delhi and highlighted the charms of Fukushima and collected donations for the revitalization of Fukushima.
- ・September 2017: The Kenjinkai participated in the summer festival hosted by the Japanese Society of India (Japanese School in Delhi). Ran a booth for Namie fried noodles, highlighted the revitalization of Fukushima and collected donations. The Kenjinkai also introduced Ten-no-Tsubu rice and Momo-no-Megumi peach juice produced in Fukushima.
- ・August 2019: The Kenjinkai participated in the summer festival hosted by the Japanese Society of India (Japanese School in Delhi). The Kenjinkai also introduced Ten-no-Tsubu rice and Momo-no-Megumi peach juice produced in Fukushima.

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

インド福島県人会は、定期的に行っている懇親会を通し、コロナ禍で日々変わる生活環境の情報交換をしつつ、故郷福島への思いを馳せています。また、例年、デリー日本人会夏祭では、福島県名産の料理や、オリジナル米、県産ジュース、民芸品等を提供し、福島県の復興PRに努めています。

現在、インドでのコロナウイルスの感染拡大は世界でも群を抜く水準で、多数の在留邦人が日本へ一時避難しています。震災後、福島県は力強く復興の道を歩んでいます。コロナ禍も震災復興の経験を活かし、克服して頂きたい。私達会員も、コロナウイルスの拡大に堪え、故郷福島の更なる復興を祈っております。

■Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

The India Fukushima Kenjinkai holds gatherings periodically to exchange information about the changing living environment due to COVID-19 and think about Fukushima together. We also participate in the summer festival hosted by the Japanese Society of Delhi and introduce local specialty food, rice, juice, and art craft from Fukushima to support the revitalization of Fukushima.

The spread of COVID-19 in India is extreme compared with other countries in the world. Many Japanese have temporarily moved back to Japan. After the Great East Japan Earthquake, Fukushima has made steady steps forward. We hope people of Fukushima will also overcome the COVID-19 using the experience of restoration. We in India will try our best to get over the spread of COVID-19. We always pray for further revitalization of Fukushima.

ヤンゴン福島県人会 / Yangon Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2016 年 5 月 4 日
- ・ 代表者：会長 溝井 正幸
- ・ 活動中心地：ミャンマー ヤンゴン
- ・ 会員数：13 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: May 5, 2016
- ・ President: Masayuki Mizoi
- ・ Place of Activity: Yangon, Myanmar
- ・ Members: 13 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ヤンゴン福島県人会では、2016 年の設立以降、現地駐在者とその家族を中心に活動を行っている。共通の話題をもった日本人同士で気軽に交流を深める場として半年に一度県人会を開催し、同郷の方とお酒を飲む機会を設けている。ミャンマーでの生活、仕事や様々なことに関しての情報交換や会員間の親睦を図る場として機能しており、ゴルフ好きのメンバー同士では、ゴルフコンペなども行っている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

Since the establishment of Yangon Fukushima Kenjinkai in 2016, mainly Japanese expats and their family have been carrying out some activities. We hold Kenjinkai twice a year and give opportunities for the members to drink and mingle. The event is functioning as a place for members to exchange information about life in Myanmar, or about work. Golf events are organized occasionally by the members.



■復興支援事業

- ・2017年7月：第1回アジア圏福島県人会サミットをバンコクで開催（シンガポール、タイ、ベトナム、ミャンマー、インドの5県人会の代表が活動状況や今後の活動方針を協議し、今後の情報交換と交流を誓い合った。）
- ・2019年12月：ミャンマー、英国、香港の県人会長がミャンマーで交流会を開き、福島の評判払拭と発展に関する支援について懇談を行った。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ July 2017: The 1st Asian Fukushima Kenjinkai Summit was held in Bangkok (Representatives of the 5 Kenjinkais of Singapore, Thailand, Vietnam, Myanmar and India discussed the activity status and pledged to exchange information about future activity policy)
- ・ December 2019: Kenjinkai presidents from Myanmar, the United Kingdom, and Hong Kong held an exchange meeting in Myanmar to discuss dispelling rumors and supporting the development of Fukushima.

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から10年。

あの日、大好きな町並みが津波に呑みこまれていく様を捉えるテレビ画面の光景を呆然と立ちつくして見ていました。多くのもの失われましたが、共に苦しみを乗り越えてきた方々との『絆』が福島県民を団結させ、大切な財産となったように感じます。明るく前向きに福島を復興させようという、熱い気持ちを持つ人たちのおかげです。大好きな福島の復興に力を注いでくれてありがとう！ヤンゴンから引き続き応援しています。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

It has been 10 years since the Great East Japan Earthquake and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. On that day, I was stunned to see the sight of the TV screen as my favorite townscape was swallowed by the tsunami. A lot of things have been lost, but I feel that the “bonds” with those who have overcome their suffering have united the people of Fukushima and have become an important asset. Thanks to the passionate people who are cheerful and positive about revitalizing Fukushima. Thank you for focusing on the revitalization of our favorite Fukushima! We will continue to support from Yangon.

台湾福島県人会 / Taiwan Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2017 年 3 月 13 日
- ・ 代表者：会長 佐久間 弘次
- ・ 活動中心地：台湾 台北市
- ・ 会員数：45 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: March 13, 2017
- ・ President: Hirotsugu Sakuma
- ・ Place of Activity: Taipei, Taiwan
- ・ Members: 45 people

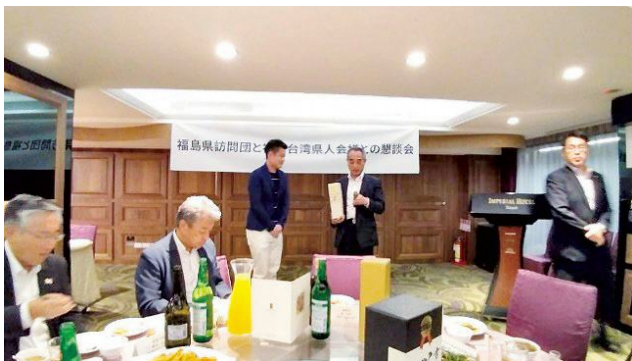


■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

台湾福島県人会は、福島県に縁があり、ビジネスで駐在している方々が中心となって2017（平成29）年3月13日に設立。3か月に一度程度、台北市内において福島県人の集いを開催し、各自の近況とテーマに沿った報告を兼ねて毎回情報交換を行いながら、台湾と福島をつなぐ架け橋を目指した活動を続けている。会員は、旅行会社や宿泊関連をはじめ、金融機関、保険、運輸、食品、製造業、メディア、建設、不動産、美容、音楽家等多方面で活躍するメンバーで構成されており、各人の本業を持ち寄り、息の長い復興支援を図っている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Taiwan Fukushima Kenjinkai was established on March 13, 2017 by people with a connection to Fukushima and stationed in Taiwan for business. Every three months, we gather in Taipei to exchange information about Fukushima and ourselves as we continue to have activities that create a bridge between Taiwan and Fukushima. Kenjinkai members are involved in a wide range of business such as travel, hotel business, finance, insurance, transportation, food, manufacturing, media, construction, real estate, beauty, music, etc., and we use our specializations to provide long-lasting support for the revitalization of Fukushima.



■復興支援事業

2018 年 7 月：福島民報社が台湾に派遣した「ふくしま復興大使」との交流を行った。

2018 年 7 月：福島・台湾定期チャーター便運行に関する畠副知事の台湾訪問時に懇談を行った。

2017 年 12 月：ワールド福島県人会満山会長と、東日本大震災・東京電力福島第一原発事故からの復興支援として、台湾から本県への観光拡大に向けて会談を行った。

2019 年 8 月：南相馬市の女声合唱団「MJC アンサンブル」が日台文化交流のため訪台した際、懇談会を行った。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ July 2018: The Kenjinkai had a meeting with the “Fukushima Reconstruction Ambassadors” dispatched to Taiwan by the Fukushima Minpo.
- ・ July 2018: The Kenjinkai had a meeting with Toshiyuki Hata, Vice-Governor of Fukushima about the routine charter flights between Fukushima and Taiwan during his visit to Taiwan.
- ・ December 2017: Kenjinkai members had a meeting with President Mitsuyama of the World Fukushima Kenjinkai to provide support for revitalization after the Great East Japan Earthquake and the TEPCO Fukushima Nuclear Power Station accidents and to increase visitors from Taiwan to Fukushima for sightseeing.
- ・ August 2019: When “MJC Ensemble”, a female chorus group in Minamisoma City, visited Taiwan for cultural interactions between Taiwan and Japan. The Kenjinkai held a gathering after.

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

3.11 から 10 年をこの台湾の地で迎えることを感慨深く感じています。この台湾と日本は固い絆で結ばれており、更にその中で台湾と福島との関係は、これからの両地域の未来を語るうえで、特別な意味と役割を担っています。福島・東北の復興は、先の長い取組になるかもしれません。そして、我々台湾福島県人会として、直接的に貢献するのには、限りがあるのも現実かもしれません。しかし、その中においても、私たちは、最も身近な各々の本業を通して、一人ひとりが描く思いを体現し、後世にその思いを受け継いでいくことは、十分可能だと確信しています。過去を嘆くことなく、未来に夢を馳せ、皆で心と力と智慧を持ち寄り、今日よりは明日、明日よりは明後日と現在を輝かせてまいります。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

It has been 10 years since the Great East Japan Earthquake struck on March 11, 2011. Here in Taiwan, we keep the people of Fukushima in our hearts. Taiwan and Japan have built a strong relationship. This has a special meaning, and both have a special role in making a better future together. The revitalization of Fukushima and the Tohoku Region may take a long time, and the Taiwan Fukushima Kenjinkai may have limits to the direct support we can provide; but we are confident that we can realize our dream through our businesses and that we will be able to pass down our vision for Fukushima to the next generation. Without crying about the past, we dream about the future, gather together with wisdom and strength, and work daily to make a better future.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2013 年 2 月
- ・ 代表者：会長 スtockton 亜紀子
- ・ 活動中心地：オーストラリア パース
- ・ 会員数：31 人
- ・ Website: <http://perth-fukushima-kenjinkai.com/>

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: February 2013
- ・ President: Akiko Stockton
- ・ Place of Activity: Perth, Australia
- ・ Members: 31 people
- ・ Website: <http://perth-fukushima-kenjinkai.com/>



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

ここ西オーストラリア州のパースで、東日本大震災の復興支援に思いを寄せる人たちが多くいることを知り、福島市出身者と福島県にゆかりのある人たちで「パースふくしまの会」を設立。以降、毎年パースの街中で行われるたくさんの人で賑わう「日本祭り」では、ふくしまブースを出展している。福島を精一杯アピールするとともに、福島県産の食品や物品を販売し、集まった義援金で福島県の子供たちの様々な活動を支援し続けている。『さすけねえ〜』の精神で、「できる人が、できるときに、できるだけ」をモットーに、故郷の子供たちに笑顔をプレゼントしたい一心で活動中。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

When we realized that many in Perth, Australia wanted to help with the revitalization of Fukushima, we decided to establish the Fukushima Kenjinkai in Perth with the participation of people from or connected in some way to Fukushima. Since then, we have ran a Fukushima booth at the “Japan Festival”, a festival that attracts many visitors every year. We highlight Fukushima as well as sell local specialty food and crafts from Fukushima, and use the money collected from sales to support children’s activities in Fukushima. With a spirit of “It’s No problem”, members do whatever they can whenever they can with the hope of bringing smiles to children in Fukushima.

■ 復興支援事業

- ・ 2013 年 10 月：福島県との交流事業（福島大学等）を実施。
- ・ 2014 年 2 月：「パース日本祭り」にて本県PRブースを設置。（以後毎年継続）
- ・ 2014 年 4 月：オーストラリアで集めた本県への支援メッセージ等を県庁で展示後、県内の特別支援学校等へ寄贈。
- ・ 2014 年 5 月：オーストラリアン・ホテルズ・アソシエーションが開催したホスピタリティ・エキスポ酒ブースに出展し、蔵元2社とともに県産日本酒をPR。（翌年と2回実施）
- ・ 2015 年 1 月：第2回サミットで紹介した映画「物置のピアノ」が日本映画祭で上映、仲介役。
- ・ 2015 年 4 月：「心のサポート・プロジェクト」にて福島県の情報を発信。
- ・ 2016 年 5 月：パース着物クラブとの合同イベントで福島県の情報を発信。
- ・ 2016 年 10 月：「福島県観光・物産セミナー in パース&シドニー」に協力。
- ・ 2016 年：大使館の平成 28 年天皇誕生日レセプションにて福島県の魅力をPR。
- ・ 2018 年 3 月：「パース日本祭り」にて県産の食品と物品を販売し福島の魅力をPR。
- ・ 2018 年 4 月：桜の聖母高サッカー部などへ支援金を寄附。
- ・ 2019 年 3 月：「パース日本祭り」にて県産の食品と物品を販売し福島の魅力をPR。
- ・ 2019 年 6 月：在パース日本国総領事館主催の「サイクル・アラウンド・ジャパン」に参加し、福島県の観光名所をPR。

- ・2019年12月：特別養護老人ホーム「なごみの里」にパース在住編み物クラブ手製のひざ掛け80枚を寄贈。
- ・2020年3月：「パース日本祭り」にて、福島の情報発信と会津塗の作品の紹介。
- ・2020年6月：豪ニューサウスウェールズ州の山火事関連で、一番被害の大きかった現地の小学校とハイスクールに、福島の学校や団体からの応援メッセージを寄贈。
- ・2020年7月：現地のパース補習授業校とパースふくしまの会で集った義援金を、猪苗代支援学校へ寄附。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・October 2013: The Kenjinkai held an exchange project with Fukushima Prefecture (Fukushima University, etc.)
- ・February 2014: The Kenjinkai ran a Fukushima PR booth at the Japan Festival in Perth. (Has continued every year since then)
- ・April 2014: After messages for people of Fukushima collected in Australia were exhibited at Fukushima Prefectural Office, they were presented to Special Needs Education Schools, etc.
- ・May 2014: The Kenjinkai ran a sake booth at the Hospitality EXPO hosted by the Australian Hotels Association and promoted sake from Fukushima in cooperation with two breweries. (Also held in the following year.)
- ・January 2015: "A Piano in Storage," which was shown at the 2nd Overseas Fukushima Kenjinkai Summit, was screened at the Japanese Movie Festival.
- ・April 2015: The Kenjinkai participated in the Mental Support Project and shared information about Fukushima.
- ・May 2016: The Kenjinkai participated in a joint event with the Perth Kimono Club and shared information about Fukushima.
- ・October 2016: The Kenjinkai helped support for the Fukushima Prefecture Tourism & Specialty Seminar in Perth and Sidney.
- ・2016: The Kenjinkai participated in a reception for the Emperor's birthday hosted by the Embassy and highlighted Fukushima.
- ・March 2018: The Kenjinkai sold food and goods from Fukushima at the Japan Festival in Perth and promoted Fukushima.
- ・April 2018: Donated funds to the Soccer Club at the Sakura no Seibo Gakuin, etc.
- ・March 2019: The Kenjinkai sold food and goods from Fukushima at the Japan Festival in Perth and promoted Fukushima.
- ・June 2019: The Kenjinkai participated in Cycle Around Japan hosted by the Consulate-General of Japan to Perth and promoted tourist sites in Fukushima.
- ・December 2019: The Kenjinkai presented 80 hand-made blankets from the Knitting Club in Perth to a special nursing home for the aged, "Nagomi no Sato."
- ・March 2020: The Kenjinkai shared information about Fukushima and introduced Aizu lacquerware at the Japan Festival in Perth.
- ・June 2020: The Kenjinkai brought messages from schools and organizations in Fukushima to elementary schools and high schools in Australia seriously damaged by the forest fires in New South Wales.
- ・July 2020: The Kenjinkai donated funds collected at cram schools in Perth and the Fukushima Society in Perth to the Inawashiro Special Needs Education School.

■ 震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

2011年3月、臨月のお腹を抱えながら、パース自宅のテレビで見たあの悲惨な光景は、決して忘れることができません。その娘も今年3月で10歳。震災から何年経とうと、福島を応援する人は世界中にたくさんいます。さらなる復興へ向けて、また風評払拭の為にパースで正しい知識を広めていくとともに、現在の福島、そして美しい自然の多い魅力あふれる福島を発信し続けていきます。今後もこちらでできることを継続しながら、細く長く活動し、福島を応援していきます！

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

In March 2011, while I was in my last month of pregnancy, I was watching TV at home when I saw the tragic videos of the disaster in Fukushima. I will never forget them. It has been 10 years since the Great East Japan Earthquake and my daughter has become 10 years old in March. Many around the world continue praying for the people of Fukushima even after many years have passed. For further revitalization and dispelling harmful rumors of Fukushima, we continue providing accurate information about Fukushima while highlighting its beautiful nature and more.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2014 年 12 月
- ・ 代表者：会長 渡辺 健二
- ・ 活動中心地：オーストラリア シドニー市
- ・ 会員数：30 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: December 2014
- ・ President: Kenji Watanabe
- ・ Place of Activity: Sydney, Australia
- ・ Members: 30 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

数人のオヤジの飲み会から始まったが、同様な女子会も存在していたことから合流し大きくなり、2014年にシドニー福島会を設立した。現地永住者、短期滞在者（会社駐在員、留学生、ワーキングホリデー）とその家族、そして福島に深い思い入れを持っている方を中心に活動し現在に至っている。年間行事としては、3ヶ月に1度程度の頻度で飲み会・食事会を開催し会員間の親睦を深めている。会員はオーストラリアで生まれた若い方から85歳のベテランまで多士済々で多様性を柔らかく包含する県民性から毎回話が盛り上がる。毎年3月にはシドニー日本クラブ主催の東日本大震災復興支援イベントに参加し、福島の祭り、食文化の紹介、そして大震災体験者の体験談などを紹介した。独自開催のイベントとしては、2016年に福島の花写真展（野口勝弘さん、福島の花プロジェクトと協賛）を開催し、豊かな福島の自然美を紹介した。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Fukushima Kenjinkai in Sidney was established in 2014 through the joining of different groups of people with connections to Fukushima. Membership is currently made up of people assigned to Sydney for work, students studying in Sydney or on working holidays, their families, and people who are not from Fukushima but who have an interest in it. We have gatherings every three months to deepen relationships among members. Because some were born in Australia and are still young, and some are old, we are always excited to talk about different topics together in a friendly atmosphere that accepts everyone. In March each year, the Kenjinkai participates in a support event for the victims of the Great East Japan Earthquake hosted by the Japan Club of Sydney. We highlight Fukushima's festivals and food culture, and tell visitors about the story from the victims of the earthquake and tsunami. The Kenjinkai also hosted the Fukushima Flower Photo Exhibition in 2016 in cooperation with Katsuhiro Noguchi and the Fukushima Flower Project to introduce the beautiful nature of Fukushima.

■復興支援事業

- ・在外福島県人会サミット参加（第3回）
- ・2016年3月：東日本大震災復興支援イベントを支援（シドニー日本クラブレインボープロジェクト主催）
- ・2016年8月：東日本大震災復興支援イベント“サムライフェスティバル”を支援
- ・2016年10月、11月：福島の花写真展開催（野口勝弘さん、福島の花プロジェクトを支援）
- ・2016年12月：Matsuri in Sydneyにて福島スキー観光プロモーションを支援
- ・2017年3月：東日本大震災支援イベントを支援（シドニー日本クラブレインボープロジェクト主催）
- ・2018年3月：東日本大震災支援イベントを支援
- ・2019年3月：東日本大震災支援イベントを支援

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ The Kenjinkai participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (3rd).
- ・ March 2016: Helped support the event for the victims of the Great East Japan Earthquake (hosted by the Japan Club of Sydney Rainbow Project)
- ・ August 2016: Helped support the “Samurai Festival” to support event the victims of the Great East Japan Earthquake
- ・ October-November 2016: Hosted the Fukushima Flower Photo Exhibition in cooperation with Katsuhiro Noguchi and the Fukushima Flower Project
- ・ December 2016: Cooperated with tourism promotion for skiing in Fukushima at the Matsuri in Sydney
- ・ March 2017: Helped support the event for the victims of the Great East Japan Earthquake (hosted by the Japan Club of Sydney Rainbow Project)
- ・ March 2018: Helped support the event for the victims of the Great East Japan Earthquake
- ・ March 2019: Helped support the event for the victims of the Great East Japan Earthquake

■震災後10年を迎える福島県へのメッセージ

福島で生まれ育った会員はシドニーで生活している今もその幸運を感じ、誇りにしています。飲み会では夫々に生まれ育った街を自慢しあっています。福島県民は、歴史的背景も自然環境も大変多様性に富んでいながら、福島という名前に皆包含され繋がっています。遠く離れて暮らしている私たちも心は福島とともにあります。これからも福島の復興と発展の道をいっしょに開いていきましょう。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

All the members brought up in Fukushima are proud of their home. We all feel lucky to have been raised in such a beautiful place. When we get together in Sydney, each of us talks about our individual hometowns in Fukushima. Although we were from different areas of Fukushima, areas that have different histories and natural environments, we all share a strong bond. We are away from home, but we always think about the people of Fukushima. We continue taking steps forward for revitalization with people of Fukushima.



NZ オークランドふくしま会 / NZ Auckland FUKUSHIMA Kai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2020 年 4 月 25 日
- ・ 代表者：会長 加藤 八重子
- ・ 活動中心地：ニュージーランド オークランド市
- ・ 会員数：3 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: April 25, 2020
- ・ President: Yaeko Kato
- ・ Place of Activity: Auckland, New Zealand
- ・ Members: 3 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

創立は2020年4月25日。毎年この日、ニュージーランド・オーストラリアでは、アンザックデーと呼ばれる国民の祝日に当たり、この日は第一次世界大戦のガリポリの戦いで国のために活躍してくれた方々への追悼の日である。

4月25日に発足したのは偶然で、特に大きな意味はないが、この国では大切な日であり、ニュージーランドで初の県人会ということで、私たち会員にとっても覚えやすく大切な日になればとの思いもある。

設立の経緯については、ニュージーランドではまだ県人会がなく、友人であるパース・ふくしま会の会長からの勧めが一番のきっかけである。

従って、まだ私たちの県人会の歴史は浅く、1年に満たない。

さらに発足がコロナによる感染拡大の中ということもあり、活動らしい活動ができていない状況。

これから先、まずは会員を募っていくことに力を入れつつ、オークランドで行われる、国際イベントの参加、会員との情報交換会等を予定している。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The NZ Auckland FUKUSHIMA Kai was founded on April 25, 2020, Anzac Day, a national holiday in New Zealand and Australia commemorating soldiers who served in the Gallipoli Campaign during the First World War.

Establishment on April 25 was a coincidence. It does not mean anything special; but it is an important day for people in New Zealand and for the members of the Kenjinkai, and we remember this day for two reasons.

We did not have a Kenjinkai in New Zealand, and one of my friends, who is the president of the Fukushima Society in Perth, suggested that we establish one here.

It has been less than a year since establishment; but due to COVID-19, we have been prevented from organizing any activities.

We are planning to focus on finding new members, participating in international events, and exchanging opinions with members.



■復興支援事業

設立歴が浅いためと、コロナの影響により、支援事業はまだ行っていない。

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

Since the Kenjinkai was established less than a year ago, COVID-19 has prevented us from organizing any activities.

■震災後 10 年を迎える福島県へのメッセージ

ニュージーランド、南島のカンタベリー地方の大地震も東日本大震災の約 3 週間前に発生、多くの爪痕を残しました。それ故、この国に住む多くの人にとっても忘れられない年であり、こちらでも福島の方々と同じ年月を数えながら復興活動を行ってまいりました。

震災後の日本の復興作業の早さには、同じ震災を受けたニュージーランドにとっては衝撃でした。

赤道を越えて日本から救助活動に来ていただいた方々が、休む暇もなくそのまま東日本大震災の救助活動へ飛び立って行ったことが思い出されます。

月日が経つにつれ、遠い過去の出来事として、人々の脳裏から薄れていくことだけは決してないように、海外に住む私どもは正しい情報を常に更新し周囲に伝えていきたいものです。

これからも、何千キロも離れた地から故郷への思い・エールを送り続けます。

■ Messages from the Kenjinkai to Fukushima Prefecture on the 10th Anniversary of the Disaster

The 2011 Canterbury Earthquake that struck the South Island of New Zealand occurred about three weeks before the Great East Japan Earthquake. For this reason, people in New Zealand also cannot forget the year, and we have been engaged in revitalization activities as people in Fukushima have. The quick and smooth revitalization seen in Japan after the earthquake impressed the people the New Zealand, who had suffered similar damage.

We remember that the Japanese rescue teams sent to New Zealand to help returned to Japan to assist the victims of the Great East Japan Earthquake without any rest.

We must remember these disasters as time goes by and provide accurate information about Fukushima. We continue praying for our hometown from New Zealand.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：2008 年 9 月
- ・ 代表者：会長 草野 昌谷
- ・ 活動中心地：中華人民共和国大連市
- ・ 会員数：44 人（2017 年時点）

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: September 2008
- ・ President: Masaya Kusano
- ・ Place of Activity: Dalian, China
- ・ Members: 44 people (as of 2017)



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

- ・ 大連福島県人会は 2008 年に設立された。
- ・ 毎月 1 回の定例懇親会の開催（2017 年時点）

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

- ・ The Dalian Fukushima Kenjinkai was founded in 2008.
- ・ Periodical gatherings are held once per month (as of 2017).

■ 復興支援事業

- ・ 在外福島県人会サミット参加（第 1 回、第 2 回）
- ・ 「日本東北交流懇談会 2018」での鈴木副知事の大連訪問時に県人会ほか関係者との懇談を実施。（2018 年 8 月）

■ Activities Supporting the Revitalization of Fukushima

- ・ The Kenjinkai participated in the Overseas Fukushima Kenjinkai Summit (1st and 2nd).
- ・ August 2018: When Masaaki Suzuki, Vice-governor of Fukushima, visited Dalian for the “2018 Tohoku Information Exchange Meeting”, Kenjinkai members joined the meeting with Fukushima Prefecture Government staff.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1972 年 11 月 15 日
- ・ 代表者：会長 渡辺 友二
- ・ 活動中心地：パラグアイ共和国アスンシオン市
- ・ 会員数：33 人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: November 15, 1972
- ・ President: Tomoji Watanabe
- ・ Place of Activity: Asuncion, Republic of Paraguay
- ・ Members: 33 people



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

在芭福島県人会はパラグアイへの移住者により 1972 年に設立された。

1980 年から 2001 年までの間、県の「県費留学生受入事業」や「中南米移住者子弟研修受入事業」に 13 名の若手会員が参加し、福島県の歴史や文化を学んだ。

現在は活動を休止中であるが、今後の県人会の運営について会員間で話し合い、若い世代への引継ぎを行っていく予定。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Zaipa Fukushima Kenjinkai (Fukushima Kenjinkai in Paraguay) was founded by emigrants from Fukushima in 1972.

Between 1980 and 2001, 13 young members participated in the “Fukushima Prefectural Government Scholarship Program” and the “Fukushima Program for Fukushima Program for Latin American Kenjinkai Youths”, through which they learned about the history and culture of Fukushima.

Currently, the Kenjinkai has suspended activities; however, there are plans to discuss the future of the Kenjinkai with the goal of passing it down to the next generation.



北米イリノイ州シカゴ福島県人会 / Hokubei IL Chicago Fukushima Kenjinkai

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：1970 年 3 月 15 日
- ・ 代表者：会長 須田 利雄
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ
- ・ 会員数：－人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: March 15, 1970
- ・ President: Toshio Suda
- ・ Place of Activity: Chicago, Illinois, U.S.A
- ・ Members: －



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

シカゴ福島県人会は1970年に渡辺松弥氏（初代会長）、菅野武雄氏（副会長）、須田利雄氏（副会長）、佐藤敬氏（副会長）が中心となって設立された。その後、須田氏が会長となり、活動が続けられてきたが、現在は活動休止となっている。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The Fukushima Kenjinkai in Chicago was founded in 1970 by Matsuya Watanabe (1st Chairman), Takeo Kanno (Vice-chairman), Toshio Suda (Vice-chairman), and Kei Sato (Vice-chairman). Later, Suda became the Chairman and continued the activities. However, currently it has stopped all activities.

■ 県人会基本情報

- ・ 設立年月日：不明
- ・ 代表者：会長 サダム シバタ（解散時）
- ・ 活動中心地：アメリカ合衆国ハワイ州アイエア地区
- ・ 会員数：－人

■ Basic Information of the Kenjinkai

- ・ Date of Establishment: unknown
- ・ President: Sadamu Shibata
(At the time of dissolution)
- ・ Place of Activity: Aiea, Hawaii, U.S.A
- ・ Members: －



■ 県人会の概要（主な活動、設立経緯、歴史等）

設立時期は不明。

東日本大震災後直後には当時のハワイ州4福島県人会（ホノルル、マウイ、ハワイ島、アイエア）による義援金が県に寄せられた。

その後、会員の高齢化により、活動の継続が困難になったことから2012年2月に解散した。

■ Introduction of the Kenjinkai and its Main Activities

The date of foundation is unknown.

Immediately after the Great East Japan Earthquake, four Fukushima Kenjinkais in Hawaii (Honolulu, Maui, Hawaii Island, and Aiea) sent donations to Fukushima Prefecture.

Due to the aging of the members, the Fukushima Kenjinkai in Aiea, Hawaii was dissolved in February 2012.

